

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報告書)

国語	P 1
書写	P 6
社会 (地理的分野)	P 11
社会 (歴史的分野)	P 16
社会 (公民的分野)	P 23
地図	P 30
数学	P 33
理科	P 41
音楽 (一般)	P 47
音楽 (器楽合奏)	P 50
美術	P 53
保健体育	P 57
技術・家庭 (技術分野)	P 62
技術・家庭 (家庭分野)	P 66
英語	P 70
道徳	P 77

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

国 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
国語701 新しい国語 1	国語801 新しい国語 2	国語901 新しい国語 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書全体を通して、国語学習を生活や人生に生かすという視点が貫かれ、「学びに向かう力、人間性等」が涵養されるよう工夫されている。 ・課題解決的な言語活動が数多く設けられ、対話を通して学びが深められる内容になっている。 ・メディアリテラシーや情報活用について学ぶ教材を全学年に掲載している。情報の整理の仕方や情報と情報の関係のとらえ方が、身近な例を題材にして学べるようになっている。 ・「話すこと・聞くこと」の教材では、主体的に学習に取り組めるよう、多くの具体例を示し、生徒がどのように話したらよいかを自らの力で考えられるようにしている。さらに、助言し合う活動を取り入れ、よりよい話し方をお互いにアドバイスし合えるように配慮している。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が言葉の学びへの関心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ・「広がる言葉」と資料編「言葉を広げよう」と合わせて、1555の言葉が例文とともに示されている。 ・「読むこと」の領域では、ひろい視点で見つめられる文学的な文章の作品が取り上げられ、生徒が登場人物の心情に寄り添えるような内容のものが掲載されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・3領域を支える基礎的な力を鍛える「学びの扉／学びを支える言葉の力」が設けられ、系統的・段階的に積み上げられるように配置されている。 ・各教材が「目標」・「問いかけ」→「言葉の力」→「振り返り」という統一した流れで構成されている。 ・「読むこと」の教材で学んだ力を、「書くこと」の学習で生かせるように、配列を工夫している。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・物語仕立ての「日本語探検」、ゲームで学べる「文法の窓」、言葉の学びを深めるきっかけとなる漫画「学びの扉」など生徒の学習意欲をかき立てる工夫がされている。 ・ウェブページで「言葉の力」の全18教材の練習問題が用意されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言語事項」等のページのレイアウトが見やすくわかりやすい。ユニバーサルデザインになっている。 			

		種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社 三省堂
国語702 現代の国語1	国語802 現代の国語2	国語902 現代の国語3	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・9種類の「思考の方法」が取り上げてあり、各教材の学習活動を進めたり深めたりできるよう、図解で示してある。 ・「読むこと」の教材では、教材に沿った読みの観点が示されている。その観点を基に教材文を読むことによって、多様な読み方ができるように工夫してある。また、「振り返りのキーワード」が示されており、それを基に自分の考えを振り返ることによって、学んだことが確認できるよう工夫している。 ・我が国の言語文化に親しめるような古典教材が配置されている。古典のもつリズムや先人のものの見方や考え方に触れることができるようになっている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「思考の方法」一覧では、3年間で扱う思考の方法が視覚的に示され、汎用的に活用できる工夫がなされている。 ・「書くこと」の領域では、書くことへの目的意識や必要性を生徒がもって活動に取り組めるような題材を設定している。学んだ力が生徒の日常生活で生かされるように工夫している。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、教材をいくつかの系列にまとめてあり、3年間で「何を学ぶか」が系統立てて明確に示されている。 ・「領域別教材一覧・つけたい力を確かめよう」が巻頭に提示されていて、「つけたい力」と「言語活動」の関連がわかりやすく示されている。また、学習目標を把握しやすいように配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「私の読書体験」「読書活動」、書籍紹介「小さな図書館」「私の本棚」各学年5本の読書教材「読書の広場」の3本の系統で読書に取り組めるようになっている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、学習手順を上段に、学習の重点や情報を下段に配置し、生徒が学習を進める上で参考にしやすいようになっている。 		

令和3年度使用（中学校）教科用図書調査研究報告書

			種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
国語703 伝え合う言葉 中学国語1	国語803 伝え合う言葉 中学国語2	国語903 伝え合う言葉 中学国語3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・国連のSDGsと関連させるなど、現代社会の課題を取り上げた教材が多く、言葉を通して社会とのかかわりを考えるための配慮がされている。 ・「読むこと」における文学的な文章の教材では、各学年において、人間の生き方について考させる教材を配置している。この教材から、自分自身の生き方について考えを深めることができるように工夫している。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、相手の立場や考えを尊重しながら、自分の考えを表現することが学べるように工夫している。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材文の前に「学びナビ」が設けられ、「何を学ぶか」を示し、見通しをもって学習が進められるようにしている。その中に「ここが大事」という欄が設けてあり、その箇所を読むことで学習のポイントが把握しやすくなるような工夫がされている。 ・教材として新聞、漫画、映像作品等、生徒の日常生活と深いかかわりのあるものが取り上げられ、生徒が学びに対して興味・関心を抱きやすいようにしている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「習得」の段階中心から「活用」の段階中心へと学習のスパイラルがつながるよう一年間の学習内容が構成されている。 ・国連のSDGsと関連した教材を各学年の単元のテーマとして取り上げ、系統的に学べるように配列されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「言葉の教室」「小倉百人一首」「古典教材へのいざない」など、伝統的な言語文化についての幅広い知識を身につけられるような資料が掲載されている。 ・二次元コードがあり、生徒自身が関連するウェブサイトアクセスし、学びに生かすことができるようになっている。 			

			種 目	国 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	光村図書出版 株式会社	
国語704 国語 1	国語804 国語 2	国語904 国語 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な学びを促すために、学習過程が明示してあり、身につける力の焦点化が図られている。個→集団→個という流れで対話的に学びを深められるようになっている。 ・深い学びができるように「学習の窓」で、汎用的な読みのポイントを図解とともに示してある。文章を比較しながら読み、その読み取ったことを表現活動に生かすという学習の流れにより、生徒は目的意識を持って教材文を読み取ることができるようになっている。 ・「情報の取り扱い方に関する事項」を解説した「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」を図解とともに一覧にしてある。 ・「書くこと」「読むこと」では、生徒が話し合いながら考えたり、振り返ったりする活動があり、伝え合う力を高めあえるように配慮している。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域では、関連する既習事項が提示されており、他の領域での学びを生かせるよう工夫されている。「つなぐ」という項目では、実生活で生かせる場面が提示され、学びに向かう意欲を高める工夫がなされている。 ・情報化社会における課題に関する教材が選択されている。図表の読み取りや情報の整理、比較、メディアの特性や情報の信頼性についてなど、論理的思考や情報活用の力が育成されるよう工夫されている。 ・他教科との関連が図られており、教科横断的に扱えるよう、話題や題材、学習活動が工夫されている。 ・「漢字に親しもう」が各学年に設けられ、1・2年生の巻末には「小学校六年生で学習した漢字」があり、小学校での漢字の確認もできるように工夫されている 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・同一領域の指導事項を系統的に指導できるよう教材が配列されている。各学年とも単元の配列を同様にし、小・中9年間の系統を重視した教材構成や表記の工夫等がなされている。各領域が特定の時期に偏らないようバランスよく配置されている。 ・巻頭で汎用性の高い思考法や可視化の方法を「思考の地図」として紹介し、3年間を通して他教科や日常生活等で広く応用できるようにしてある。 ・各学年の巻末に語彙表「語彙を豊かに」が収録され、日常的に活用することで、語彙力を高め豊かな言語感覚を身につけることができるよう配慮されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域が明確に識別できるよう、教材の冒頭や目次などにマークをつけて区別する配慮がなされている。 ・脚注の新出漢字には、すべての音訓と用例が示されており、その教材での使われ方以外でも活用できるよう工夫されている。 ・色覚特性に配慮している。図表は色だけで区別せず、線種や地紋などでも識別できるよう工夫されている。 			

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

書 写

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		東京書籍 株式会社	
書写701 新しい書写 一・二・三年			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思考の過程が記録できる欄が設けられており、対話的学習に生かせる工夫がなされている。 ・ 国語科の教科書に掲載されている古典作品などとの連携が図られている。 ・ 単元間に適宜、既習事項を確認する「まとめ」のページや、評価に役立つ「書写テストに挑戦しよう」を設け、知識の定着と学力の向上を図っている。 ・ 単元が①硬筆文字から「書写のかぎ」を発見し課題を共有する→②毛筆で大きく書くことで確認する。→③硬筆でほかの文字を書くことで定着を図る という展開で、毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎になるように構成されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字を正しく整えて速く書くための知識・技能を系統的に整理して「書写のかぎ」と名付け、1単元に1事項を配置して、確実な習得を図るように工夫している。 ・ 文字文化コラム「文字のいずみ」を設けて、文字の移り変わりや書き初めなどを取り上げ文字文化を継承・発展させる態度を養うよう工夫している。 ・ 「書写活用ブック」が学年共通で使用できるようになっており、学んだことを日常生活で生かせるように工夫している。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識・技能（「書写のかぎ」）を学年の発達段階に応じて重点化しながら各単元に配置し、らせん状に学習できるよう工夫している。 ・ 国語や他教科の学習と連動している単元・教材には、（教科書関連マーク）をつけて意識付けを図っている。 ・ 「書写活用ブック」には日常生活で生かせるような、手紙や新聞、ポスターの書き方などが取り上げられている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書き込み欄が下に配置されており、左利きの生徒への配慮がなされている。 ・ 手本は二色の淡墨を使い、毛筆の筆遣いについて筆の角度やさばき方などがわかりやすく示されている。また、「トン・スー・ピタ」の音によって、筆圧や筆運びなどが具体的にイメージできるよう工夫されている。 ・ 映像資料「Dマーク」が示されている単元では、筆使いの様子を映像で確認できるようになっている。 		

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		株式会社	
書写702 現代の書写 一・二・三		三省堂	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行書の筆使いが写真やイラストで示されていて、生徒自身で理解できるように工夫されている。 ・ 毛筆での学びを硬筆で確認しながら書く活動を行うことにより、毛筆と硬筆の学びのつながりを意識させるように工夫されている。 ・ 楷書と行書の書き方を比較することにより、生徒自身が行書の特徴に気づき、理解できるように工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元の冒頭に、7段階の学習の流れが明示されており、生徒が見通しをもって自主的に学習できるように工夫されている。 ・ はがきの宛名や都道府県名等、日常生活において学んだことを生かせるような教材を取り上げ、生徒が文字を手書きすることの大切さを考えられるようにしている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各教材が、①目標の確認→②書き方のポイントの把握→③他の文字での応用→④毛筆→⑤振り返り→⑥硬筆→⑦単元を通して学んだことという流れで構成されている。 ・ 「書いて身につけよう」では、国語で学習する古典教材が取り上げられ、書写においても古文に親しめるよう工夫されている。 ・ 「やってみよう」では、国語の教材と同じ活動を取り上げ、学習したことを関連づけながら学ぶことができるように工夫されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毛筆で習得したことを、他教科の学習や日常生活・社会生活でも活用できるように、硬筆による書き込みページを10教材分設けてある。 ・ 二次元コードがあり、小学校で学習した硬筆・毛筆の姿勢や持ち方、運筆、用具の扱い方などが動画を見て確認できるようになっている。 		

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		教育出版 株式会社	
書写703 中学書写			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒作品や学校生活の中で活用できる資料が豊富に掲載されており、実生活でも生かせる配慮がなされている。留意点や手順、考える視点が項目ごとにまとめて示されているので、生徒が主体的に学ぶことができるように工夫されている。 ・行書特有の穂先の動きや筆の運びが分かりやすいよう、朱墨と薄墨の二色を使った手本になっている。また、「連続」「省略」「筆圧」等のマークを使い、筆使いのポイントが詳細に解説されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・相手意識、目的意識、方法意識を明示してある。 ・学習の進め方が①目標→②考えよう→③生かそう→④振り返ろう⑤学習や日常生活に生かそうと明示してある。 ・「コラム」では、身の回りにある文字を紹介し、文字文化に興味を持つように工夫している。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「試し書き」、「考えよう」での学習ポイントの書き込み、「まとめ書きと応用」と習得の過程が自分の文字でわかるようになっている。 ・毛筆で学んだことを硬筆の学習において生かすことができるような教材や、国語の教材として取り上げられた古典教材を硬筆の教材として取り上げるなど、学びのつながりを感じられるように配慮している。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の書く活動と連動し、学習したことを他教科で実践できるよう工夫されている。 ・小・中学校で学習する漢字の楷書・行書の手書きによる漢字一覧ととの索引が巻末資料に設けられている。 		

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		光村図書出版 株式会社	
書写704 中学書写 一・二・三年			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆練習帳「書写ブック」を新設し、毛筆教材文字と同じ学習要素をもつ硬筆課題を豊富に設定している。硬毛との密接な関連を図りながら、毛筆での学習が硬筆に生きるよう工夫されている。 ・作例の種類や書式、筆記用具などは、生徒の日常や学校生活に即したものを採用し、生徒が書写を日常に生かすイメージがもてるように配慮している。 ・毛筆教材では、朱墨や筆遣いを示す写真を用いて、筆脈や穂先の動きを把握しやすいように工夫されている。 ・主体的に学べるように、文字の特徴や違いについて単元の最初に考えさせる活動を設定している。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習を振り返ることができる「書写テスト」を設定し、振り返りができるよう工夫されている。 ・各学年にふさわしい文字や文字文化への理解・関心を高める教材を随所に位置づけている。 ・国語科の教科書に掲載されている古典作品などとの連携が図られている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において適切な文字の使い分けができるよう、発達段階に応じて系統的に配列されている。 ・各教材は、目標の把握→基礎・基本の理解→確認→活用→振り返りという学習の流れがひと目でつかめる構成で、生徒が見通しをもって学習できるようになっている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書紙面にQRコードがある教材には、運筆動画や、用具の準備・片付けの解説動画などがタブレット等を使って閲覧できるようになっている。 ・硬筆練習帳「書写ブック」を使用することにより、既習事項を確認しながら、書写の基礎を確実に定着させられるように工夫している 		

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会 (地理的分野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年	3年	東京書籍 株式会社	
地理 701			
新しい社会 地理			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」の学習では、導入で、「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り上げ、現代的な諸課題を解決するための意識と態度を養えるように配慮されている。 ・単元として、課題をつかむ、課題を追求する、課題を解決するという構造化された「問い」を軸にして各単元が課題解決的に構成されていること、小集団での参加型学習のコーナー「みんなでチャレンジ」や、見方・考え方を働かせる「見方・考え方コーナー」が設定されていることにより、『主体的・対話的で深い学び』の実現に配慮した内容となっている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習内容を「学習課題」で示し、生徒が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ・地理的事象と地域の人々の営みとを関連付けて例示した本文となっている。地域学習の節末に「もっと地理」が設けられ、各節の主題や中核とした地理的事象の考察以外の視点からもその地域を解説しており、生徒が多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 ・各章の章扉には、小学校で学習した資料に「小学校マーク」、用語には「小学校の社会でならったことば」のコーナーで分かりやすく示している。小学校の学習の振り返りから、章の課題をつかんでいくように工夫されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の教材構成、配列は適切である。これらにより、地域の特色をあらわす主題や、中核とした地理的事象の考察の視点で捉えられるよう工夫されている。 ・各単元の最初に、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返る活動が設けられており、小学校から中学校の学習への円滑な接続に配慮している。 ・社会科3分野に貫くテーマを設定して、共通の題材や共通の資料を扱い、多面的・多角的な学習ができるよう配慮されている。 ・他教科の学習との関連か所にはマークが付けられており、社会的事象について、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインフォントの使用、色覚特性のある生徒にも見分けやすい色を使つての表現など、特別支援教育に関する配慮がなされている。 ・今日的な課題として、持続可能な社会の実現に向けて解決すべき課題を5つのテーマから、様々な題材で捉えられる仕組みとしている。 		

		種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		3年	
地 理 702 中学社会 地理 地域に学ぶ		教育出版 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の流れに即して、「読み解こう」のコーナーを設け、具体的に資料を読み取りながら、資料活用を中心とした読解力がつくように工夫されている。 ・「地理の技」のコーナーでは、世界・日本の略地図の描き方など、基本的な地理的スキルを身につけやすいように配慮されている。 ・各小單元には「表現」のコーナーが、章末・節末には「学習のまとめと表現」のページが設置され、地理的事象や課題について説明や話し合いなどに取り組めるようにも配慮されている。 ・「地域のあり方」では、これまでの学習を振り返りながら、自分たちの暮らす地域の課題を見つめ直し、課題を解決する方法を考察・構想していく。このような学習を通して、主体的に社会の形成に参画していく態度を養えるように配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習内容を「学習課題」で示し、生徒が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ・「地理の窓」というコラムがあり、授業から興味や関心を広げられるような工夫がされている。 ・「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」という特設ページが計13テーマ設定されていて、現代の事例をもとに、今日的な課題に学習を深められるように配慮されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・「地理の学習を始めるにあたって」では、小学校の社会科の学習の振り返りと、中学校の社会科の見通しを示す。また、「地理にアプローチ」では、小学校で学習した、地図やグラフに関する基礎的な知識を確かめられ、中学校での学習へスムーズな接続ができるよう配慮されている。 ・本文の学習ごとに、「学習課題」と対応させた、「確認」と「表現」のコーナーが設けられている。基礎的事項の確認・整理と、地理的事象や課題などに関する説明や話し合いなどの表現活動と段階的に取り組めるように工夫されている。 ・本文の右ページ下には、地理の他ページの関連のほか、他分野との関連を示すように配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色や、レイアウト、表現方法、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、全ての生徒が学びやすいように配慮されている。 		

		種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		3年	
地理 703 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土		株式会社 帝国書院	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」「日本の諸地域」の学習では、主題を中心とした展開に配慮しながら、自然環境、生活・文化、産業をバランスよく扱うことで、正しい国土理解と異文化理解が行えるように配慮されている。 ・「節(章)の問い」を受けて、単元末に「学習を振り返ろう」が設置されている。「地理的な見方・考え方」を働かせて課題を振り返り、思考力・判断力・表現力を高めながら、「深い学び」を実現できるように配慮されている。 ・写真や地図、グラフなどが大きく見やすく提示されている。意欲を引き出す資料、思考・判断を促す資料など、内容に対応した適切なものとなっている。 ・コラム「未来に向けて」を25回、特設ページ「地域の在り方を考える」を7回設けている。これらのコラムにおいては、人々が地域に見られる課題に対して協働して取り組み、地域の発展を目指している姿を提示しており、郷土との関連が図れるよう配慮されている。 ・環境教育、防災、人権・平和教育、グローバル化、少子高齢化、情報化、SDGsといった今日的な課題に対応した内容に配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・学習する地域の姿が見える写真資料が多く取り入れられていて、生徒の興味・関心を喚起し、「地理的な見方・考え方」を働かせられるように配慮されている。 ・「日本の諸地域」の各地方の冒頭には、地方を概観できるイラスト地図が掲載されている。そこには、小学校の学習を振り返る「問い」を糸口に、中学校の学習に結びつけるように配慮されている。 ・コラム「未来に向けて」が25か所設置され、持続可能な社会をつくるための人々の取り組みをしめすことで、社会に対し自身がどのように参画していくかを発展的に考えることができるように配慮されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の教材構成、配列は適切である。 ・「導入→学習課題→本文→確認しよう・説明しよう」という展開で統一し、構造化されていて、学習内容が定着するように配慮されている。 ・本文ページ下段に「小学校・歴史・公民との関連」コーナーが設置され、歴史・公民的分野との接続ができるよう、関連用語が提示されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の動向を伝える写真が数多く掲載されているだけでなく、各ページに大きな写真が掲載されており、自然環境や生活・文化などを実感できるよう、工夫されている。 ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、誤読を防ぐように配慮されている。 ・紙面右端のインデックスには、章の学習内容が記載されていることで、一目で学習している単元が分かるように配慮されている。 		

		種 目	社会 (地理的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2年		3年	
地 理 704 中学社会 地理的分野		日本文教出版 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1時間の授業としては、どのようなことに着目して学習に取り組むのかを「学習課題」「見方・考え方」で示され、学習課題を深めるための問いが「深めよう」で示されている。 ・ 分かりやすく構成された学習の流れの中で、単元全体・教科書全体を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現できるように配慮されている。 ・ 単元の振り返りや「アクティビティ」「チャレンジ地理」に取り組むことで、単元全体で「主体的・対話的で深い学び」を実現するようになっている。 ・ 「スキルアップ」のコーナーが設けられ、地理の学習を進めるために必要な技能を、系統立てて習得できるよう工夫されている。 ・ 世界や日本の事象を多面的・多角的にとらえることができるように、人権、環境問題、資源・エネルギー、平和、防災・減災、伝統と文化の観点とした教材が準備されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「スキルUP」では、学習に必要な地理的技能を6種類に整理し、発達の段階に応じて系統立てて習得できるよう配慮されている。 ・ 小学校社会科との「連携コーナー」を教科書の脚注部に設けたり、各章の導入ページで小学校で学習した内容を示したり、発達の段階に考慮している。 ・ 各章末などに、単元全体に関わる問いや活動が設定されていて、補充的な学習、発展的な学習にも配慮されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界の諸地域と日本の諸地域の章では、導入ページ、大観ページ、主題学習・動態地誌的学習のページ、振り返りのページで構成されていて、学習の構成が明確である。 ・ 「地理+α」や「スキルUP」のコーナーで、社会科の歴史的分野、公民的分野、また、他教科に関連した教材を多数掲載しており、相互に関連させながら学習を進められる。教科書全体として、道徳科との連携も取り扱っている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色 (カラーユニバーサルデザイン) や、レイアウト、表現方法、文字 (ユニバーサルデザインフォント) などの工夫により、全ての生徒が学びやすいように配慮されている。 ・ 3編では、1章と4章で地域調査学習を実施して、考察、構想までを行えるようになっている。また、2章と3章の学習とも結びつけて、最終的には地域のあり方を「まちづくり会議」を開いて構想の結果を発信し、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うように配慮されている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会 (歴 史 的 分 野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		東京書籍株式会社	
歴史 705 新しい社会 歴史			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の導入で写真やイラストがあり、時代を大観できるように配慮されている。また、単元を貫く探求課題が導入部に設定されており、「つかむ」「追及する」「解決する」といった学習のパターンがあることから、学習の見通しがもてる作りとなっている。 章末には、チャート図やランキング等の作成など、多様な思考ツールで学習した内容を多面的、多角的に思考を整理する活動が設けられ、その時代の特色をまとめさせるよう工夫されている。年表では、前章の振り返り、次章の見通し、その時代の特色をつかむことができる。本文では、我が国の歴史と世界史との関連や因果関係が捉えられる。 よりよい社会を実現しようとする態度を養うために、身近な歴史を調べる活動や、教科書全体でSDGsについて意識しながら学習できるような工夫が施されている。 「みんなでチャレンジ」という小集団の参加型学習が適宜設けられ、対話的な活動ができるようになっている。 写真や地図、グラフなどが豊富に掲載されている。資料番号が本文中にも挿入され、本文と資料との関係がとらえやすい。本文と資料の関係は適切であり、また、資料を読み取る際の視点を明確にする配慮がなされている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 第1章の「歴史の流れのとらえ方」や章扉の年表で、小学校の履修内容を振り返り、学習の導入として取り組みやすい工夫が見受けられる。 導入資料の読み取りの視点などを気付かせるキャラクターの吹き出しや、各時代の学習内容に関連した実物・復元物や人物写真などが豊富に配置され、生徒の興味・関心に適応するよう配慮されている。また、資料の実寸をイメージしやすいように、寸法が明記されていたり、特に重要な使用は大きく掲載されたりするなどの配慮がみられる。 「章末には「もっと歴史」や「資料から発見」というコーナーが設けられ、実物資料によって扱った単元についての補充的、発展的学習に取り組みやすい工夫がある。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> 第1章に「歴史の流れ」を配し、古代、中世、近世、近代(2章)、現代の7章構成となっており、時系列に沿って配列されている。全体の教材構成、配列は適切である。 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に、政治・人々の生活・文化を関連付けて系統的に学習できる構成になっている。 「Dマーク」が付属している単元では、インターネットを使って、関連する教科の教科書紙面を見ることができるため、多角的な視野に立ち、教科横断的に関連付けながら補充的な学習に取り組める。また、他分野と共通で掲載している資料や特設ページには、マークを表示することで地理分野や公民分野を意識した展開となっている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 本文ページからキャラクターのイラストを削除、見分けやすい色やアイコン、UDフォントの使用、ふりがな文字の濃度の設定、3.1%の軽量化など、すべての生徒にとって、使いやすく学びやすくなる配慮が施されている。 各ページの末尾に設けられている「チェック」によって、基礎・基本の確実な定着を図り、「トライ」によって要約や説明などの言語活動が行えるようになっている。 		

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		教育出版 株式会社	
歴史 706 中学社会 歴史 未来をひらく			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章扉では、日本・中国・朝鮮の東アジア3地域を「これから学習する時代」として、帯状の年表に示されている。また、章末に設けられている「学習のまとめと表現」で、時系列に沿って東アジアを含む世界との関連付けが図られ、我が国の歴史の大きな流れを理解し、まとめる工夫が施されている。 コラムや特設ページによって、本文とは異なる視点から歴史を捉え、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。また、歴史上の多様な人物を取り上げ、各時代におけるさまざまな考え方や、対立などについて理解し、考察できるように配慮されている。見開きごとに設けられた「確認／表現（振り返り）」、各章末ごとに設けられた「学習のまとめと表現」、学習の流れに即して設けられた「読み解こう」などにより、①資料の読み取りや調べ学習、②資料の比較などを通し、多様な言語活動が取り入れられるよう工夫されている。 人権、福祉、環境問題などの歴史、課題や取り組み、地域社会の歴史や現状を学習し考察することを通して、SDGsについて歴史的な観点から迫り、第7章や公民への学習にスムーズに接続できるように配慮されている。 写真や地図、グラフ、文書資料などが適切に掲載されている。資料番号を本文中にも挿入し、本文と資料との関係をとらえやすくしており、本文と資料の関係は適切である。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 中学校での歴史学習への接続が図られるよう、小学校の教科書で登場したキャラクターが中学生に成長した姿で登場し、共に学びあう意識が連続するように工夫されていたり、第1章では、小学校で学習した歴史上の人物や文化財を振り返り、時代の移り変わりを考える学習活動が設けられたりしている。また、本文記述と資料が視覚的にとらえやすく配置してあり、写真や絵地図等の資料が豊富で、生徒の興味・関心を高められるよう工夫されている。 協働的な学習や自主学習をする際に活用しやすいよう、学び方や調査の進め方を解説するページや、資料ページが設けられている。また、各省扉に「まなびリンク」が設けられ、専用のウェブサイトから様々な情報を生徒自身で入手できるようになっている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 第1章に「歴史のとらえ方」を配して全体を7章に分けて構成し、時系列に従って配列されており、全体の教材構成、配列は適切である。また、古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題をもとに系統的に学習できる構成になっている。見開きごとに、表題の上に取り扱う時代の範囲の年表が色で示されていることで系統的に学習できるよう工夫されている。 巻末の史跡地図や本文中の地図資料、各章末の「学習のまとめと表現」では、歴史の出来事と関係の深い場所を地図上に書き入れる課題があり、地理的分野との関連が図られている。また、7章の最後には、現代社会の課題と自分との関わりを考察する学習課題が設定され、公民的分野への橋渡しができるような構成となっている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> すべての生徒にとって見やすい（カラーUD）、読みやすい文字（UDフォント）を使用し、図版資料などのレイアウトも工夫している。 		

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		帝国書院 株式会社	
歴史 707 社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> その時代を大観し、その時代の特色を理解させるために、各章の冒頭に、人々の暮らしに焦点を当てた「タイムトラベル」でイラストが豊富に掲載されている。また、各章、節、見開きごとに問いが構造化され、単元を通してそれぞれの問いに「歴史的な見方・考え方」で取り組んでいくことで、課題解決的な学習ができるように工夫されている。 多面的・多角的に考察する力を育むために、一つの歴史的事象について、さまざまな立場の人々の見方を示す資料を掲載している。また、特設ページ「歴史を探ろう」では、当時の社会を地方の視点から見つめるトピックを用意している。さらに、各見開きには、「確認しよう」と「説明しよう」という問いが用意されており、毎時間実施することで、自分なりに判断・表現する力を伸ばしていけるような構成となっている。 SDGsの視点に立ち、「未来に向けて」というコラムで「環境」「交流」「人権」「平和」の観点で、社会的な課題に主体的・対話的に考えられる工夫がなされている。 主体的・対話的で深い学びを実現するために、章、節、開きが構造的に作られている。「章の学習を振り返ろう」では、初めに自分なりに考えを整理し、次にグループ等で話し合い、最後に再度自分の言葉でその時代の特色を説明できるように構成されている。 写真や地図グラフ等が豊富に掲載されている。本文中に資料番号が挿入され、本文と資料の関係が捉えやすいよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 発達段階等への配慮として、第1部には小学校で学んだ人物や出来事を振り返るイラストや年表、時代の表し方や調べ方、まとめ方を詳しく取り上げたページを設けており、歴史学習の導入としての配慮がされている。また、各時代の導入部に「タイムトラベル」を設け、見開きの大きな挿絵から各時代の様子を大観して、生徒の学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。また、本文中にも、このページ番号を挿入して関連付けが図られている。 補充的な学習、発展的な学習への配慮として、概念や理解しづらい用語が扱われているページには、丁寧な解説や本文と連動した資料などが設けられている。また、どの単元にも二次元コードがついており、さまざまなコンテンツに生徒自身が触れられるように整えられている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> 第1部に「歴史のとらえ方と調べ方」を配し、原始・古代から現代までの7部で構成されており、全体の教材構成や等は適切である。構成は、古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習ができるようになっている。 本文ページの下段に、「小学校・地理・公民との関連」というコーナーが設けられ、既習内容や他分野への関連が図られている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントやカラーUD、反射を抑えた紙の使用など、すべての生徒にとって見やすくなる配慮がなされている。また、従来よりも5%の軽量化を図った。また、見開きのレイアウトが統一されており、読み取りやすい構成となっている。 その他の特色として、琉球とアイヌの人々の歴史を古代から現代まで一貫して取り上げている。また、現在まで続いている領土問題の歴史的な経緯がわかるような特設ページが設けられている。 		

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		株式会社 山川出版社	
歴史 708 中学歴史 日本と世界			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章の扉に古代から現代までの各時代の帯年表を入れ、一目でその時代の日本と世界の大きな流れを理解できるように構成している。また、その時代を象徴する絵画資料や写真を上下に配置することで、視覚的に時代の大きな流れや変化を理解できるようにしている。 各単元の導入の発問など各所に設け、自ら考え、判断する力を養えるように工夫されている。また、異なる立場の資料を取り上げることで、さまざまな立場を考慮し、公正に選択・判断できるように作られている。 よりよい社会を実現する態度を育成するために、「身近な地域を調べよう」では、生徒が主体的に取り組めるよう調査の手順や注意事項が丁寧に説明されている。また、SDGsの視点に立ち、近現代の人種や環境などの問題を通して考えられるよう構成されている。 主体的・対話的で深い学びを実現するために、史料や資料が多く配置されている。これは、史料(資料)との対話という側面があり、ポイントを押さえながら生徒自身が読み取るように構成されている。また、各章末の「まとめ」では、各時代において、自分をその当時の立場に置き換えて考えをまとめる活動が設けられている。 写真や地図、グラフ等が効果的に且つ豊富に掲載されている。本文中に資料番号を挿入し、本文と資料との関係がとらえやすくなっており、本文と資料の関係は適切である。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の発達段階等を考慮し、「第1章 歴史との対話」では、小学校で学習した人物から時代区分を学べるようになっていく。また、高校の教科書の構成に沿った流れと文体とすることで、高校進学後の学習をスムーズに始められるように意図されている。 各見開きの最後に、「ステップアップ」という発問が用意され、その授業で学んだことを整理するだけでなく、その後の歴史にどのような影響を与えるのかなど、さらに課題を追求していけるように工夫されている。また、「歴史へのアプローチ」では、さまざまな視点で捉えた10のテーマによって、発展的な学習に取り組めるよう構成されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 第1章に「歴史との対話」を配し、原始・古代から現代まで6章で構成されており、全体の教材構成、配列は適切である。 地理的分野や公民的分野との関連として、日本の領土の歴史や、古代ギリシャを通じた主権者教育が紹介されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> UDフォントやカラーUD、ルビや経線を使用するなど、特別支援教育への配慮がなされている。 2, 8, 13, 16, 18世紀の世界の様子を地図とイラストで紹介し、グローバルな視点で世界を見つめると共に、高校進学後の「歴史総合」への接続を促している。 		

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		日本文教出版 株式会社	
歴史 709 中学社会 歴史的分野			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の学習では、導入で学習のめあてを明らかにし、学習の見通しを立て、単元のまとめでは、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代の特色を大きくとらえる学習活動を一貫して配置することで、時代の特色を踏まえて我が国の大きな歴史の流れを理解できるよう工夫されている。 歴史的な見方・考え方を身に着け、多面的・多角的に考察する力を育むために、1単元ごとに、比較、推移などの視点を明らかにし、「深めよう」という活動によって、自己の考えを表現できるようにしている。 SDGsの視点に立ち、よりよい社会を実現していこうとする態度を養うために、「現代的な諸課題の解決に取り組んだ先人の姿を詳しく解説した『歴史との対話』を未来に活かす」という学習が設定されている。 主体的・対話的で深い学びを実現するために、各編(章)に一つずつ「チャレンジ歴史」が設けられ、複数の資料をもとに、歴史について自分で考えたり、対話したりする活動が設けられている。 写真や地図、グラフ等が効果的に且つ豊富に掲載されている。本文中に資料番号を挿入し、本文と資料との関係がとらえやすくなっており、本文と資料の関係は適切である。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各編の導入の年表において、小学校で学んだ人物・文化遺産などを再確認させ、中学校の歴史学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。また、章末に基礎・基本的な内容の語句を記入する問題については、教科書の巻末に解答例が掲載されていることから、生徒が安心して自ら確認できる配慮が感じられる。さらに、本文と関連した豊富な図版によって、時代像を具体的にイメージすることができ、生徒の興味・関心に適応するよう配慮されている。 デジタルマークが設けられ、発行者がウェブサイト上で公開している画像やワークシート等の教材に生徒がアクセスし、補充的な学習や発展的な学習に取り組めるように工夫されている。 		
3 組織・配列 等について	<ul style="list-style-type: none"> 第1編に「私たちと歴史」を配し、原始・古代から現代まで6編で構成されており、全体の教材構成、配列は適切である。 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に、系統的に学習できる構成になっている。各ページの右端の年表には、学習する時代の範囲が明示されている。 地理的分野とは、各編の冒頭部に同時期の世界の情勢を親しみやすいイラストを添えた地図を用いるなど、空間的な見方から史実を的確に捉える工夫が施すことによって、連携を図っている。公民的分野とは、「『歴史との対話』を未来に残す」などで、課題に対する歴史的背景を明らかにすることで連携を図っている。また、防災などを扱う単元については、数学や美術、道徳で教科横断的な展開をしている。 		
4 本書の特徴 点について	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育やCUDの専門家の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるよう、レイアウト、フォント、配色等に配慮されている。また、開きやすく閉じやすい工夫を施したり、前作より約5%の軽量化を実現したりと、製本にも生徒への配慮が見られる。 東京2020オリンピック・パラリンピック及び2025年大阪・関西万博について特設ページで扱い、近代オリンピックの理念や日本の関わりなどが学べるように構成されている。 		

		種 目	社会 (歴史的分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		株式会社 育鵬社	
歴史 710 [最新] 新しい日本の歴史			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章の冒頭には、小学校で学んだ歴史の流れを体感できる「歴史絵巻」が設けられ、登場人物たちが投げかける質問によって、大きな流れとその時代の特色を理解しやすくする工夫が施されている。 多面的・多角的に考察する手立てとして、「歴史ズームイン」「歴史ビュー」の中で詳しく取り上げるなど、文化に関する学習が充実している。「歴史ズームイン」では、多様な視点からみたエピソードなどが盛り込まれている。「歴史のターニングポイント①～⑥」という、各時代を代表する大きなできごとについて、様々な資料を基に、掘り下げて考え、級友と意見を交換し「あの時代だったらどうするか」「自分だったらどうするか」など主体的に議論できるようなページが設けられている。加えて、歴史学習の最後には、「日本の歴史を大観する」という大きな課題を用意し、歴史を自分の言葉で表現できるようになっている。 「人物クローズアップ」「なでしこ日本史」では、我が国の発展に貢献した歴史上の人物を男女・国内外を問わず取り上げ、日本独自の伝統文化の内容を充実し、日本の歴史・文化・社会を尊重する態度を養うための工夫がなされている。また、「このころの世界は」において、世界史の視点から日本の歴史を考察し、諸外国との関わりが意識できるように工夫されている。 他社ではあまり見られない写真や地図、グラフ、文書資料などが豊富に掲載されている。資料番号を本文中にも挿入し、本文と資料との関係を捉えやすくする工夫がみられる。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各章及び各単元の導入には、問題提起となるような発問等を用意し、生徒が興味・関心を高めながら課題に取り組んだり、学習を進めたりできるように配慮されている。また、序章では、小学校で学んだ歴史上の人物をカードにまとめる活動を紹介し、時代をとらえ学習活動に取り組みやすくするとともに、中学校の歴史学習との接続も配慮している。 「歴史ビュー」「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」などによって、多面的・多角的な視点で補充的、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> 序章に「年代や時代区分の表し方」を位置づけるとともに、原始・古代から近世を第1部1～3章、近代から現代を第2部4～6章の計6章で構成されており、全体の組織・配列は適切である。各章の扉で100年を1cmとする年表を掲載し、学習する時代が一目で分かる視覚的な工夫がなされている。 日本や郷土への関心や愛情を深めると共に、他民族の文化や生活に関心を持ち、尊重できるような道徳的な内容が含まれている。また、近現代の学習単位を通して公民的分野への関連が図られている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 明るく見やすい色彩デザイン、鮮明な写真の使用、ルビ、丁寧な説明など、生徒にとって分かりやすい教科書となっている。また、地理的な概念が理解しやすいように、適宜必要となる地図等を配置している。 女性たちの活躍に注目し、各時代を代表する15人の女性たちの生き方が「なでしこ日本史」というコーナーで取り上げられている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

社 会 (公 民 的 分 野)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	社会 (公民的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍 株式会社	
公 民 9 0 1 新しい社会 公民				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・導入→展開→まとめという学習活動に対し、課題を「つかむ」→「追究する」→「解決する」という単元の構造化により、課題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。 ・課題を追究する過程において、1時間の授業ごとに学習のめあてを提示する「学習課題」＝(？マーク)、社会的な見方・考え方を捉えさせるプロセスとして学習課題を解決するための「チェック」＝(し点マーク)・「トライ」＝(鉛筆マーク)が、見開き2ページの始めと終わりに掲載されている。また、「チェック・トライ」の二段階で学習内容を確認できるよう、為されている。 ・「チェック」では基礎・基本事項を確認し、「トライ」では要約や説明をする言語活動が設定されている。 ・「社会的な見方・考え方」を習得させる一連の活動として、導入では既得の見方・考え方を働かせ、展開では見方・考え方を捉えさせ、終末では見方・考え方を働かせる流れが構造化されている。 ・「見方・考え方コーナー」があり、例えば「近年、日本で民泊やライドシェアリングが解禁された理由を考えましょう」など、現代社会の見方・考え方を働かせ学びを深める工夫が見られる。 ・章末には「まとめの活動」のページがあり、各節ごとに「探求のステップ」とする課題解決を補助する問いが段階的に提示されている。単元を貫く「問いを解決しよう」という表現で全単元統一され、各単元における導入活動とリンクさせたまとめの活動が設定されている。さらに、その「問い」を解決する過程において、ツールミン図法や座標軸など多様な思考ツールが提示され、思考を整理するのに効果的である。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の終末部に「基礎・基本のまとめ」が設定され、重要語句を見直したり説明したりする活動を通して、学習内容を定着させることができるよう配慮されている。 ・第2章から第5章の導入部において、「小学校の社会で習ったことば」が明示され、小中学校の関連が図られている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元は現代社会、政治、経済、国際社会の順に配列され、適切かつ適量である。 ・各ページには教科書の二次元コードがあり、地理的分野や歴史的分野の関連ページを見ることができるだけでなく、分野関連マークがあり、視覚的にも関連や一目できる。また、小学校マークがあり、小学校教科書に掲載されている社会的事象の確認が出来る。教科関連マークがあり、他教科と関連する内容であることが教科横断できるだけでなく、Dマークコンテンツでは、インターネットを使って他教科の誌面を見ることができるようになっている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な陰影や立体感のあるデザインを無くしたフラットデザイン、色の組合せの工夫があるカラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォントが採用されている。また、ふりがなの文字濃度を75%にし、より見やすく読みとりやすいよう配慮されている。 ・本文ページからキャラクターを消し、学習内容に集中できる紙面の工夫がある。 ・資料掲載部分に色分けして本文との区分けが明確であり、見やすい。 ・塗料などを工夫した上で、約3.1%の紙の軽量化を図っている。 ・レイアウトを工夫し、資料掲載が約10%拡大している。 			

			種 目	社会 (公民的分野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	教育出版 株式会社	
		公 民 902 中学社会 公民 とともに生きる		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・全体として、「つながりへの気づき」を意識した内容構成になっている。特に、個人・社会との社会的成員としてのつながり、小学校・中学校・高等学校の学びのつながりの2点に特化している。個人と社会とのつながりでは、「持続可能な未来の在り方」としてSDGsが意識され、それを問うことこそ「本質的な問い」であるとしている。 ・各章の始めには、公民の学習で働かせる「見方・考え方」の欄があり、各章で意識させたい視点が紹介されている。また、章末には、前掲の視点に従った問いが示され、社会的な見方・考え方の育成のみならず、前章→次章→次章とくり返し活用することにより、より深い思考力育成になっている。 ・本文中に「Q」や「見×考」マークが設けられ、生徒が社会的な見方・考え方を働かせて考えるための資料があり、深い学びを促す工夫がされている。 ・「読み解こう」では、本文の流れに即した資料が掲示され、その読み取りを通して、資料活用能力の育成だけでなく、思考力・判断力・表現力の育成につながっている。 ・本編ページの各資料には通し番号が付けられ、本文においても資料との関連がわかるよう資料番号が挿入されており、配慮が為されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の終末部分には「学習のまとめと表現」が設けられている。STEP1では基礎的・基本的な社会的事象を確認、STEP2では資料を見て問いに答える資料活用・技能を育成、STEP3では章全体のテーマについて、文章や説明文などで思考力・判断力・表現力を育成するように、段階的に発展学習に取り組めるよう、工夫が為されている。 ・「特設ページ」では、学習内容について視点を変えて捉えなおす箇所としている。例えば、「もしも裁判員裁判に参加したら」や「まちづくりのアイデアを提言しよう」など、模擬シミュレーションや模擬プレゼンテーションを通して、言語活動における表現を育成する課題が設定されている。また、「平和主義のこれまでとこれから」や「日本の外交に今とこれから」というように、資料を通して現代社会が抱える諸課題を深く考える学習も設定されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・配列は、現代社会、政治、経済、国際社会の順で、経済分野が経済と社会保障の2章に分かれている。 ・全章に渡って、公民的分野の重点項目である「人権・平和」「福祉・社会保障・労働」「国際理解・多文化共生」「社会参画・公共性」「SDGsの達成に向けた持続可能な社会形成」「人々の姿」について系統表が示され、網羅されるようになっている。 ・章の流れが、「導入→本時→特設ページ→学習のまとめと表現のページ→次章へ」となっており、見通しと振り返りの学習活動が組織化されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に優しい再生紙と植物油インキが使用されている。 ・ユニバーサルデザインにおいて、色 (カラー) 及びフォント (字体) に配慮がある。 ・扉ページに「まなびリンク」が設けられ、二次元コードを使って学習に役立つ情報が使えるよう、補充学習や発展学習、自主学習への配慮が為されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 帝国書院	
公 民 9 0 3 社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の配列は、「始めに (導入資料) → 本文 (学習課題) → 最後に (確認しよう・説明しよう) 」という一連の流れになっており、主体的な学びが営まれている。 特設ページのうち「未来に向けて」「先輩達の選択」では、対話的な学びができるよう施されているだけでなく、「よりよい社会を目指して」ではSDGsに関する各地の取り組みが、生徒への意識喚起になっている。 主体的に社会参画する意識を高める内容を取り上げている。例えば、政治単元では単元の最後の見開きで政治参加の大切さを取り上げたり、各単元において「一個人として」「住民として」「職業人として」など諸立場における社会参画への意識をもたせたりして、ねらいを達成しようとしている。 「アクティブ公民」では、例えば「みんなで決めるとはどういうこと？」や「あなたが無人島に漂着したら？」など、社会的な見方・考え方を働かせながら、多角的・多面的に社会的な選択や判断を問う課題が設定されている。 章や節において「問い」が設けられている。「章の問い」ではその単元を貫く大きな問いが、「節の問い」では節における到達目標が明示されている。これらの「問い」を通し、深い学びが得られる工夫がなされている。 社会科三分野の関連を図るために、導入の工夫、単元を貫く問い、章・節の振り返り、毎時間の学習における問い、社会的な見方・考え方の契機、小学校での既習事項の揭示、防災意識を高める資料、領土問題への関心契機、SDGsについて具体的な事例紹介、豊富な地図資料が重視されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「公民プラス+」では、例えば「AIを減災に活用」や「「アリとキリギリス」から「選択」を考える」など、学習内容に関連する実社会の動きを紹介し、生徒の主体的な学びや社会的事象への興味・関心の喚起となっている。 第1部から第4部の導入部にあたる「学習の前に」において、「小学校との関連」が設定され、既習事項との関連を確かめてから学習を進めることができるよう、発達段階を考慮した工夫が為されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 単元配列は、現代社会、政治、経済、国際社会の順である。全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。 学習の見通し・振り返りの流れが構造化しており、「部・章・節の始め」においてイラストや身近な場面を見て学習の見通しをもち、本文ページでは「学習課題」と「確認しよう・説明しよう」にて学び、「章・節の最後」において既習の内容を振り返ることにより、主体的な学びが為されるとしている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 授業を支援する5つのツールとして、「デジタル構成案」・「デジタル指導案」・「学習シート」・「学習プリント」・「授業スライド」が準備されている。さらに、「学習シート」はポートフォリオ化することにより一連的・系統的学習が計画されている。また、デジタル教科書類は、指導者だけでなく学習者用もコンテンツ集としてネット上に収録されている。 			

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	社会（公民的分野）
1年	2年	3年	公民 904 中学社会 公民的分野	日本文教出版 株式会社
教科用図書の記号・番号・名称				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・本文は、導入→学習課題→本文・図版→確認という流れで構成されている。 ・見開き2ページ1時間の題材の中に、「見方・考え方」が設定され、学習課題の解決に向けて手がかりとなる主な「見方・考え方」が示されている。 ・「アクティビティ」では、学習内容に即した資料や時事が掲示されているだけでなく、異なる立場、双方の考えを取り上げ、その読み取りを通して、資料活用能力の育成、多面的・多角的な視点の育成だけでなく、主体的・対話的な問いや活動が設定されている。 ・設問を段階的に配置することにより、生徒にとって思考や学びの連続性があるだけでなく、教師にとっては授業で使いやすい工夫がなされている。 ・各編・各章の終わりには、「チャレンジ公民」が設けられ、その編・章に関わる社会の課題について考える活動が設定されている。 ・章末には社会的な課題を自分事として考察し構想するまとめのページが設定されている。課題設定の工夫だけでなく、デジタル資料としてワークシートが用意されているだけでなく、生徒自らが学びに動き出すページとしてまとめのページが工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の導入部において、小学校で学習した内容とのつながりが紹介されている。また、各見開きページでは、地理的分野・歴史的分野の学習とのつながりが示されており、関連を意識した復習がしやすいよう工夫されている。 ・「シンキングツールマーク」が設けられ、課題について手助けとなるチャートや表が思考カスキルを高めるワークがある。また、「デジタルマーク」がある教材は、ウェブ資料が用意されており、生徒が自宅で学習する際の補助教材となり得る。 ・「チャレンジ公民」では、社会の課題について、自分で問題を発見し解決する力を養えるような「テーマ設定」がされている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元配列は、現代社会、政治、経済、国際社会という配列である。特に、第5編はこれまでの公民学習のみならず、3分野の総括、中学校社会科学学習の総括として、持続可能な社会をテーマにした、3分野横断的な課題解決学習が設定されている。 ・教科書の最終末部に「高校の公民科『共生』とのつながり」が設定され、高校進学後、社会科で何を学ぶのか、小中学校で学んだことがどのようにつながっていくのか考える場面が設定され、校種を連続する学びを意識できるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの観点から、UDフォントを採用している。また、同様の観点から、図の読みとりやすさへの配慮がなされている。 ・例えば「まちのバリアフリーを探そう」では写真資料に加え教科書内に点字が掲載されていたり、「15歳は子ども？それとも大人？」では放課後の帰り道の設定で登場人物の会話を通して問いに迫っていたりなどの工夫が見られる。これらの課題は「明日に向かって」と称し、学習を日常の生活や社会に生かし、将来に向けた意欲を高める工夫がされている。 ・学習者向けのデジタル教科書では、文字の大きさや行間を調整するリフロー表示がなされている。また、全ての漢字にルビ（ふりがな）表示をする総ルビ表示にも対応している。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 自由社	
公 民 9 0 5 新しい公民教科書				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各章末に「学習のまとめと発展」のページがあり、各章の内容に関わるいくつかの課題が設定されている。それらの課題は、「第1段階 学習のまとめ」であり、重要語句の中でも最重要語句が掲載されている。生徒が学習内容を理解したか否かをチェックする () が設けられている。「第2段階 3つの問題」では、語句や内容について、100字・200字でまとめる課題が設定されている。 単元に関連する内容が、「もっと知りたい」というコラム欄にて、単元のそばに掲載され、生徒の学習意欲と社会の一員としての自覚が高まるよう配慮されている。 各章ごとに1~2つ「アクティブに深めよう」称する課題解決学習が設定されている。例えば、「新聞を読み比べてみよう」や「家事方法の進歩は私たちの生活にどのような影響を与えただろうか」など、生徒の身近な課題を提供しており、主体的・対話的深い学びへの工夫が見られる。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各章末部において、「学習のまとめと発展」が設けられ、各章で学習した重要語句を「最重要語句」として取り上げ見直すことにより、基礎・基本の定着が図られている。 学習内容を深める、あるいは補足する資料として「ミニ知識」というコラム欄があり、本文の学習内容を図やイラストにしたり、時事的な話題を掲載したりして、工夫している。 最終章「課題の探求」として「レポートと卒業論文の作成」が設置されている。この一連の活動の中で、議論の仕方を学ぶことにより公正な議論のスキルを身につけ効率に配慮した合意形成を学ばせようとする工夫が見られる。 例えば、第2章の導入部では、古代からの国家の形成や農業の開発などの内容を取り上げることで、歴史的分野の既習事項との関連が図られ、工夫が為されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 単元は大きく現代社会、政治、経済、国際社会という配列である。また、単元は連番になっており、学習内容を見通すことができる。 序章で「現代日本の自画像」とし、第1章「個人と社会生活」から第5章「国際社会に生きる日本」までを5章とし、終章では「持続可能な社会を目指して」とし、単元番号が連番となり、断続的な学習が意識できるよう工夫されている。また、学習内容について、一単元だけで学ぶのではなく、複数の単元で繰り返し学習するよう配列されており、継続的学習により理解が深まる工夫がなされている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> 重要語句はゴシック (太字) になっている。これらの重要語句は、関連した複数の単元において再掲されるようになっている。 各単元において、右下に「ここがポイント」として学習内容のまとめが掲載され、生徒が理解しやすいよう工夫されている。 			

			種 目	社会 (公 民 的 分 野)
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株 式 会 社 育 鵬 社	
公 民 9 0 6 [最新]新しいみんなの公民				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・問題意識をもって意欲的に学習に取り組めるよう、各章の導入では「学習の入り口」、終末では「学習のこれから」という頁が設けられている。他人事ではなく、自分事として現代社会を捉えさせ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫が見られる。 ・第2章では、日本国憲法の原則を基に、生活と憲法との関係について解説されている。さらに、多様な資料を基に人権尊重が学べるように構成されており、その結果、個人と社会の関わりが理解できるよう工夫されている。 ・「スキルアップ」というコーナーが7箇所に渡り設けられ、ディベートやKJ法など、公民の基礎的な技能を身につけられるよう、工夫されている。 ・「学習を深めよう」では、どの題材においても掲載され、学習内容を補足する資料や課題、学習内容を発展的に広げる話題などが掲載されている。 ・「TRY」では、学習した内容をより発展させる課題、考えを深めさせようとする課題が設定されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・13の「やってみよう」という課題が設定されており、「お小遣いの使いみちを考えよう」「もしも警察がなかったら？」など、生徒目線で生徒自身が社会的事象を考えることができる課題が設定されている。 ・まちづくりや村おこしなど観光立国・日本として地域への関心を高める視点や、人権と多文化共生について多面的・多角的に考えさせる資料など、教材の工夫が見られる。 ・各章の導入部において小学校での既習内容が掲載されており、それらを振り返ることを通してこれから学ぼうとする学習内容との関連が図られている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・単元は現代社会、政治、経済、国際社会の順で配列され、政治を2つに分けた5章構成になっている。 ・「つかむ→調べる→まとめる→表現する」と称する問題解決型学習の教材配列で、導入や課題意識→本文→コラムや図版資料→学習のまとめという流れの紙面構成により、確実な学習の定着をねらっている。 ・これから学ぶ内容を紹介する「章扉」→学習の視点を培う「入り口とこれから」→毎時間の言語活動を働きかける「鉛筆マーク」→学習内容の定着を確認する「学習のまとめ」といった一連の流れのある章構成となっており、段階的に多様な言語活動に取り組めるようになっている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間軸 (縦軸) 」と「空間軸 (横軸) 」が示され、これまで学習してきた地理的分野、歴史的分野などの学習内容と、これから学習していく公民的分野の学習内容がどのような位置にあるのか、概念図が示されている。 ・図版は色覚特性を考慮し、判別しやすい色が用いられている。また、ルビにはゴシック体を使い、小さな文字も読みやすいよう配慮されている。教育外漢字や固有名詞などにもルビを振り、難しい法律用語等には補足を設けるなど、配慮されている。 			

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)
地 図

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	社会 (地図)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		東京書籍 株式会社	
地図 701 新しい社会 地図			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や公民の学習とも連携したページや資料を設けて歴史・公民マークを付け、社会的事象を多面的・多角的に考察できるように配慮されている。 ・「基本資料」のページでは、世界の各州、日本の各地域の概観に役立つ主題図が提示されていて、基礎的・基本的な知識を習得できるように配慮されている。「テーマ資料」のページでは、課題解決的な学習で活用できる資料が提示されていて、学習への主体的な取り組みの支援に配慮されている。 ・世界の一般図は州をできるだけ大きな縮尺で取り上げ、同縮尺の日本などと比較して、地理的な感覚を養ったり、日本の一般図は、縮尺を100万分の1に統一して、地形の特色を的確に捉えたりできるように配慮されている。 ・巻頭にSDGsを特集するページを設け、国際社会が抱える様々な課題を理解できるように配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・産業地図記号や動物・特産物等の挿絵、写真などが豊富に使われ、生徒に親しみやすく分かりやすくなるよう工夫されている。 ・一つ一つのグラフが大きく、色彩も絞っており、視覚的に配慮されている。 ・関連する資料の参照ページを「ジャンプ」コーナーで示し、複数の資料を関連させて見ることを促し、学習に広がりをもたせられるように配慮されている。 ・資料の読み取りのポイントや見方・考え方を示した中学生や教師のキャラクターの吹き出しを設けることで、親しみやすく、資料の理解を促し考察を深められるように工夫されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野の学習の流れに沿って、世界、日本ともそれぞれ「一般図」「基本資料」「テーマ資料」「統計資料」で構成されており、必要な資料が探しやすいよう工夫されている。 ・歴史的分野や公民的分野の学習で活用できるページや、資料を随所に掲載し、歴史・公民マークを付けて明示することで、3年間の社会科学学習全体で活用できるように工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・同社発行の「新しい社会 地理」の学習内容と連動するように資料配列がなされている。また、教科書にない補充資料を掲載している。 ・裏表紙に、保護者へのメッセージが掲載されていて、地図帳の家庭での活用を呼びかけ、社会科学学習が卒業後も生きるといった工夫がされている。 		

		種 目	社会 (地図)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		株式会社 帝国書院	
地 図 702 中学校社会科地図			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・地図から読み取る学習や言語活動を促す「地図活用」コーナーが設置されており、地理的技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できるように配慮されている。 ・環境問題や、持続可能な開発目標 (SDGs) の観点に基づいた資料が豊富に掲載されている。世界と日本の各地域資料図には、「環境」マークが付いた資料図が多数掲載されている。 ・日本の各地方全てに、自然環境、人口、産業、交通の四つの事象の資料図が設置されている。また、事象を同縮尺で示すことで、分布の特徴や事象間の因果関係を比較・関連させて考えやすいよう配慮されている。 ・挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に即して適切に配置されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の各州には、自然環境や文化、生活、産業などのイラストを配した見開きの「鳥瞰図」があり、地域の特徴を視覚的に捉えることができるよう工夫されている。 ・地図帳の構成や、方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」に解説されていて、自主学習がしやすく工夫されている。 ・各地域、地方ごとに全体図、部分図が豊富に掲載され、それに関する自然、人口、産業、生活、文化などの主題図が偏りなく数多く掲載されているため、発展学習にも対応できる工夫がなされている。 ・高さごとに色分けした等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体間の強い地図表現により、地形の様子がとらえやすくなるように工夫されている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に合わせて、世界は州ごと、日本は地域ごとに地図・資料が構成されている。資料は地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的に題材が選ばれている。 ・世界の州、日本の地方はいずれも、それぞれの地域の特色を具体的に読み取れるよう、「一般図」から「資料図」へ進むような配列で構成されており、必要な資料を生徒が探しやすくなるよう工夫されている。 ・東京や京阪神、広島などにおいては、都市の拡大図が充実している。これにより、歴史的分野や公民的分野においても活用できるよう、工夫がなされている。 ・日本の領土・領域に関するページ、日本の災害・防災に関するページが設置され、最新の資料に基づいて学習できるよう工夫がなされている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードが設置されていて、生徒の自主学習を支援するコンテンツを紹介している。 ・A4版であり、地図が大きく見やすく、広域なつながりを確認しやすい。 		

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

数 学

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍株式会社	
数学 701 新しい数学1	数学 801 新しい数学2	数学 901 新しい数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得のために、問の中でも例題と似た型の問題に◆マークをつけ、スモールステップで取り組める構成になっている。また、補充問題を巻末に用意し、類題のくり返し学習ができる内容になっている。 ・全国学力調査などで課題が見られる内容について、「考えてみよう」として授業の導入で取り扱えるようになっており、確かな学力の育成の一助になっている。 ・各章の導入で、身近な場面を題材とした課題が設定されている。人物の対話を基に問題解決までの流れが明示されており、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すことができる内容になっている。 ・問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を各章に設け、「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する→ふり返る→深める」の過程に沿って問題や発問を提示することで、「思考力・判断力・表現力」の育成を図る内容になっている。 ・実社会や他教科の学習に数学を活用する題材が、現代的な諸課題の視点で導入されていて、教科横断的な授業づくりにつながるようになっている。 ・考えを説明し合う活動、ノートづくりやレポート作成などの書く活動を充実させ、学習の基盤となる言語能力を育成できるように配慮している。 ・説明図は、学習内容を視覚的に理解したり、思考や表現の道具として用いたりすることができるように工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・算数と数学の学びをつなぐ単元として、1年生の内容の最初に「0章 算数から数学へ」が設定され、小中接続を意識した数学的活動を通して、発表の仕方や聞き方のどの学び方を学び、以後の学習で生徒が主体的に取り組めるように配慮されている。 ・章や節の導入の場面で、生活や学習に活用する課題を取り入れ、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、意欲が高まるようにしている。 ・巻末の「補充の問題」「数学の自由研究」において、生徒の個人差に対応して補充的、発展的な学習が行えるようになっている。また、学習指導要領に示されていない内容には「発展マーク」を示し、生徒の興味・関心に応じて取り上げられるようになっている。 ・「生徒キャラクターの吹き出し」では、生徒目線での気づきや考えを引き出すきっかけを示し、「ナビキャラクターの吹き出し」では、先生の目線で補助発問や注意を示して、内容理解を促すための工夫がなされている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習や、円滑な指導が行える配列になっている。 ・多くの章で、「単元を貫く題材」が用いられ、単元の学びが連続し、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・1, 2年生の学習内容の増加に伴い、内容理解の確認、定着を図るのに必要な量に問題量が精選され、巻末の「補充の問題」で個人差に対応して問題が追加できるようになっている。 ・教科書全体において、実生活での数学の活用についての題材や他教科の学習に関連する題材が扱われている。また、現代的な諸課題である「防災・安全」「環境」「人権・多様性の尊重」「伝統・文化の尊重」「オリンピック・パラリンピック」に関わる題材を取り上げ、教育を通じて、持続可能な社会づくり(SDGs)を支援している。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書のデジタル化により、タブレット上での使用を考慮し、従来の「見開きレイアウト」から「単ページレイアウト」に変更され、タブレット上での表示が大きく見やすくなっている。 ・特別支援教育および色覚特性の専門家による校閲を受け、全ページにわたって検証が行われており、カラーユニバーサルデザインを含む教科書の「ユニバーサルデザイン」に対応している。 ・用紙の軽量化により、従来比約3パーセント軽量化した用紙を使用し、生徒の持ち運びの際の負担を軽減している。 ・各学年巻頭の2次元コードからアクセスして利用できるデジタルコンテンツを用意し、コンピュータを活用して、学習内容の理解を促し、図を動的に捉えるなど効果的な学習が行えるよう配慮されている。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	大日本図書 株式会社	
数学 702 数学の世界1年	数学 802 数学の世界2年	数学 902 数学の世界3年		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> すべての章に、新しい学習を始めるための章の導入が設けられていて、生徒の意欲や関心を高め、主体的に学習に取り組めるようになっている。 問題発見・問題解決の流れに沿って学べるよう、各章の利用の課題で、「問題を見いだそう、解決のしかたを探ろう、解決しよう、深めよう」の4ステップが明示された課題が設けられ、過程を通して、深い学びが実現できる工夫がされている。 各章の利用の場面で、式や図をもとに考え方を読み取って説明をしたり、複数の考え方や表し方を比較・考察したりする活動などを取り入れ、数学的な思考力・判断力・表現力が高められるようになっている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 学習の導入部分に、既習事項との関連を重視した課題の「考えよう」が設けられていて、新たな学習への興味・関心をもって取り組めるように配慮されている。 問を補充する「プラス・ワン」や巻末の「補充問題」が設けられていて、繰り返し学習する機会があり、学んだことの確実な定着と、補充的な学習ができるようになっている。 発展的な内容として、生徒の理解度や興味・関心に応じて取り組むことができるように、先の学年や高校の学習内容を扱っている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 練習問題の学習内容を補充するために「プラス・ワン」で追加問題を設けたり、巻末に「補充問題」を用意したりして、新しく学んだことがしっかり身につくよう多くの問題が掲載されている。 巻末の「活用・探求」や「MATHFUL」では、数学を身近な場面で活用したり探求したりする問題を掲載し、全国学力・学習状況調査の活用的な問題に対応できる力を身につけられるようにしている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 「社会にリンク」では実社会で活躍する人物による数学の活用例を載せている。日常生活や職業と、自らの数学を結びつけて語る社会人の思いが生徒の興味をひくものとなっている。 特別支援教育、カラーユニバーサルデザインについて、専門家の監修を受け、レイアウトや文字の書体、配色などを一層工夫し、誰にでも読みやすい紙面になっている。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	学校図書 株式会社	
数学 703 中学校数学1	数学 803 中学校数学2	数学 903 中学校数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 身近な題材から疑問を発見し、疑問を解決する形で学習を進めることで、主体的な学びが実現できるように配慮されている。 確かな学力育成のため、「章のまとめの問題」は、基本、応用、活用の3つに分類されている。習熟度に応じた確認が可能になっている。 節末には、基礎・基本が身につけているか確認できるように「確かめよう」を設定している。 「数と計算」の領域では、節末の「確かめよう」のあとに「計算力を高めよう」を設け、基礎・基本の定着とともに、家庭学習で主体的に学習に取り組める工夫をしている。 各領域に入る前にふりかえりページが設定されており、小学校や前学年の学習を振り返ることで、学びのつながりを意識することができる。 数学的活動のページには、解決の過程が帯で示されており、今どのような過程で学習をしているのかを明確にし、数学的に考える資質・能力の育成が図られている。 巻頭と巻末で、8つの「見方・考え方」を掲載しており、問題解決の方法を意識できるように工夫されている。また、問の吹き出しには、見方・考え方を応用できるような補助質問が意図的に提示されており、思考の手助けになっている。 章の最後には、自己評価のページがある。理解できた内容と復習が必要な内容を明確にし、さらに生まれた疑問を記入することにより、学びへの意欲を高められるように工夫されている。 巻末の「表現する力をみにつけよう」では、レポートの作成から発表し、他の生徒の発表をきくまでのポイントが完結にまとめられている。表現力やコミュニケーション能力の育成に配慮している。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の各学年復習ページでは、△印で基礎・基本の問題が示されており、習熟度に応じて学習することができるように配慮されている。 生徒が抱く質問に答えるため、章末の「深めよう！」や「高校への架け橋」では、高校数学の内容の一部に触れている。発展的課題が豊富で、個に応じた学習ができるようになっている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の等式と不等式を3章「1次方程式」の導入として取り扱い、未知数である文字の性質の理解を図っている。 2年2章の「連立方程式の利用」では、段階的に数量の関係を図に表すことを学べるように、空白の線分図が用意されている。 3年3章「2次方程式」は、無理なく取り組めるように、理解しやすい解法から「因数分解を使った解き方」→「平方根の考えを使った解き方」→「解の公式」の順番に学習していく。 「深めよう！」で問題に関連する職業を掲載することにより、数学の有用性を実感するとともに、学びに向かう力を高める工夫がされている。 			
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に、アイディアボードが添付されており、考察やグループでの意見共有のためのホワイトボードとして使用できる。 例題の解答や証明は、ノート形式で示されており、見やすいノートづくりを習慣づけられるように配慮されている。 「プログラミングを体験してみよう」では、スクラッチを用いたプログラミングにより、プログラミング的思考、論理的思考が身につくようにしている。 証明の「仮定」と「結論」等は、色分けするだけでなく、一重線、二重線を加え、形でも判別できるように配慮されている。 			

			種目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	教育出版 株式会社	
数学 704 中学数学1	数学 804 中学数学2	数学 904 中学数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 身近な導入課題から浮かんだ「問い」を扱うことにより、生徒の学習意欲が高まるように工夫されている。 例題と問の間には、例題にならって無理なく取り組める「たしかめ」が設けられ、基礎・基本の理解と習得ができるようになっている。 たしかめや問の即注には、関連する補充問題のページ数が掲載されており、生徒が主体的に取り組めるように配慮されている。 章末の「学習のまとめ」には、学習感想の例が掲載されており、振り返りによる生徒の思考力・表現力の育成を図っている。 章末と巻末の「活用問題」には、問題解決のプロセスが示されている。生徒が数学的な見方・考え方を働かせ、問題解決をする一連の過程を体験することで、思考力・判断力・表現力を高め、日常の未知の課題を解決する力を身につけさせるように工夫している。 データの活用領域では、PPDACサイクルに沿って学習を行うページを設けており、学習しながら問題解決のフレームワークを身につけることができるようになっている。 章の問題には、評価規準が示され、生徒が自己評価することで、基礎的・基本的知識・技能が身につくように工夫されている。 学力調査で生徒がつまずきやすかった内容や出題形式を多く取り上げている。 「！」マークでは、学習した知識・技能のよさを生徒の言葉で示し、単なる暗記ではなく、問題解決に使える知識となるように工夫されている。 他者の考えを聞いたり、自分の考えを発表したりする場面が多く設けられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 各章のとびらでは、数学が日常生活や実社会で利用されている事例を取り上げており、数学を学ぶ必要性を生徒が実感できるように工夫されている。さらに詳しい内容を知りたい生徒のために、巻末に、社会で活躍している方のインタビューも掲載し、学びに向かう力を養えるように工夫されている。 巻末には、本文の例題等に対応する補充問題が豊富にある。基礎・基本を定着させるための練習問題や、やや程度の高い実力アップ問題を掲載しており、個に応じた学習に活用できる。 3年生の巻末には、領域複合的な問題を掲載するなど、生徒が主体的に取り組めるページが多く設けられている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「数学的な考え方」では、数学の学習を進めるうえで大切にしたい数学的な見方・考え方を紹介しており、問題を解決する力を高める工夫をしている。 目次には、関連する既習内容が示され、学習の系統性を意識できるようになっている。 各章の前には、「学習する前に」が設けられ、関連する既習事項を復習して、新しい学習に進めるように工夫されている。 節末に基本の問題を設け、基礎・基本の定着が図れるようにしている。主体的に振り返りができるように、即注には例題のページ数を掲載している。 各章の学習のまとめのページで、学習内容の全体像を俯瞰してみることができる。 巻末の「学びのマップ」では、前学年までに学習した内容が、現学年の学習内容と関連付けて完結にまとめられており、いつでも既習事項を振り返って確認することができるようになっている。 			
4 本書の徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 折込ページを開くことで、教科書のどのページを学習していても数学の見方・考え方の一覧を見ることができ、見方・考え方を意識して問題解決を行うことができる。 例題の解答をノート形式で示し、模範的な解答の書き方が分かるようにしている。 各ページの中心的内容と補足的な内容を一目で区別できる紙面デザインになっている。 			

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社 新興出版社 啓林館	
数学705 未来へひろがる数学1	数学805 未来へひろがる数学2	数学905 未来へひろがる数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・例題や内容の説明に対しての問が充実しており、教科書の流れに沿った学びが行いやすいよう設計されており、知識・技能に関する自主学習への活用や学び直しがしやすく配慮されている。 ・全国学力・学習状況調査の結果が分析されており、特に章末問題「学びを身につけよう」の中には、思考力、判断力、表現力を高める問題が多く含まれている。 ・学習の場面での重要な見方・考え方や、数学的な思考をひろげていく課題設定の視点を、「見方・考え方」の看板に入れて意識付けできるように配慮されている。「学びをいかそう」では、これまで学んだ内容と日常生活や社会、他教科と数学との関わりを考えられる題材を通して、数学をさまざまな場面に利用する活動のよさを実感できるような工夫がされている。 ・「説明しよう」、「話し合おう」、「まとめよう」のコーナーでは、自分の考えをまとめて発表したり、他者の考えを参考にして、整理しながら学習ができるようになっており、グループでの学習や、共同学習の場を設定しやすい。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を考え、既習の内容をもとに新しい学習内容へとスムーズに発展していけるように「ひろげよう」を設定し、新たな内容を学習する際にはすでに学習した関連する内容を「ふりかえり」で取り上げ、理解を深められるよう工夫されている。また、内容とあわせて、いつ学習したかも明記されており、復習がしやすい。 ・数学的活動を取り入れた「数学ライブラリー」を章ごとに設定し、興味・関心をもって主体的に数学を見だし発展させていけるように工夫されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年において、章末の振り返りで解けない問題があったときは学び直しができるように既習の内容やページ数が表記されているなど、教材構成が工夫されている。 ・新しい学習に入るときに、「ふりかえり」で関連する既習内容が示されており、振り返りながら学習が進められるように工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「自分から学ぼう編」では生徒が主体的に授業外でも取り組むことができる内容・構成にし、選択して利用することができるようになっている。 ・P1には「保護者の方へ」が掲載され、学校―地域―家庭との連携が促されている。全国学力・学習状況調査A・B問題の結果に対応している。 ・中学校の数学の学習を通して、今日的な課題に触れ、生徒が自ら考えることができるような題材を取り上げている。(環境、防災、ESD等) 			

種 目			数 学
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1年	2年	3年	数研出版 株式会社
<p>数学 706</p> <p>日々の学びに数学的な見方・考え方を はたらかせるこれからの数学1</p> <p>数学 707</p> <p>見方・考え方がはたらき、問題解決の チカラが高まる これからの 数学1 探究ノート</p>	<p>数学 806</p> <p>日々の学びに数学的な見方・考え方を はたらかせるこれからの数学2</p> <p>数学 807</p> <p>見方・考え方がはたらき、問題解決の チカラが高まる これからの 数学2 探究ノート</p>	<p>数学 906</p> <p>日々の学びに数学的な見方・考え方を はたらかせるこれからの数学3</p> <p>数学 907</p> <p>見方・考え方がはたらき、問題解決の チカラが高まる これからの 数学3 探究ノート</p>	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・問題発見、解決の過程に基づき、学習内容を習得できるように工夫されており、それぞれの場面においてポイントとなる箇所には、キャラクターの対話から課題への気付きが促される。 ・各章の初めに「ふりかえり」として、その章の内容に関係する既習事項を、関係問題とともにまとめており、新たな学習事項では既習事項のつながり、共通点や違いがわかるように記述されている。 ・各章の学びから発生する自然な疑問や日常生活の中にある数学に着目した題材を別冊で取り上げ、知識・技能の活用や学びの発展の機会が設定されている。 ・巻頭に、学び方に関する紹介のページが設けられており、①学習の進め方、②ノートのつくり方、③レポートの書き方、④ICTの活用の学び方も身につくよう設計されている。 ・事実、方法、理由などを説明する問い、自己の考えを他者に伝える機会が多く設定され、言語活動の場が充実している。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各章の初めの「ふりかえり」では、既習事項の振り返り問題を通して、レディネスの構築や内容の学び直しの場が設定されている。 ・本文内の「問」、まとめの問題「確かめよう」、章末の「基本問題」、巻末チャレンジ編などにより十分な演習量が確保されており、習熟度に合わせた学習内容の定着が図れるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・3領域の系統性を配慮した単元が構成されている。また、各単元の導入では、身近な話題を扱い、その単元に生徒が興味をもつような内容となっており、その章の学習事項をイメージできるよう工夫されている。 ・各項目の初めに目標が示されており、学習の見通しが立ちやすくなるような配慮がなされている。 ・巻末にある「数学旅行」では、既習事項を活用してものごとを考えたり、身の回りの事象から数学を見いだしたりできるような話題が取り上げられており、日常生活における数学との関連を知ることで、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・別冊に、教科書の内容を深め、学びを発展させるための素材が掲載されており、巻末には活動を円滑に進めるためのワークシート等も準備されているので、教育現場に初めて立つ人も使いやすい設計になっている。 ・SDGsを踏まえた問題について、数学を学びながら自然な形で触れられるような工夫がされており、私たちが抱える諸問題を考えやすい。 		

			種 目	数 学
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	日本文教出版 株式会社	
数学 708 中学数学1	数学 808 中学数学2	数学 908 中学数学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「数学の学習を始めよう!」や「数学的な見方・考え方を身につけよう!」、「ノートのかふう」と各章における学習をつなげることで、数学的活動を通じた学びがサポートされている。特に、数学的な見方・考え方の身に付け方について具体的に記載されており、話し合い活動における説明の手順が理解しやすい。 ・新しい章にはいる直前には、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けており、巻末に解答例が掲載されており、レディネスの構築や学び直しの場が設定されている。 ・「学び合おう」では、問題解決型の授業展開が示されており、自分で考えたことをもとに話し合い、学習をふり返り、学びを深められるよう設定されている。 ・巻末の「数学を仕事に生かす」「暮らしと数学」では、生活や社会の中で数学が重要な役割を担っている紹介があり、学んだことが身の周りに活かされていることに気づける場が設定されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・節末「基本の問題」では、問題ごとに戻るべき箇所を明示しているため、つまづきを早期に解決することができる。 ・章末に、基礎的な技能の問題である「章の問題」が設けられており、授業での補充や家庭での復習に活用することができる。また、やや難易度の高い問題である「とりくんでみよう」が設けられ、個に応じて取り組むことができるよう工夫されている。 ・巻末の「数学マイトライ」には、生徒の実態に応じて柔軟に取り組むことができる問題が用意されており、生徒の習熟度に合わせた家庭学習にも活用しやすい。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・もくじでは、学習の系統性を把握できるように、各章の内容と関連する既習事項が示されている。また、各章の初めに、「次の章を学ぶ前に」という、関連する既習事項の確認のための問題や公式等が記載されたページが設けられており、小中の連携や学び直しができるよう工夫されている。 ・「数学を仕事に生かす」や「暮らしと数学」などで学習した内容と身の回りの事柄を関連付ける内容や興味のもてる話題が取り上げられ、数学への興味・関心が高められるよう工夫されている。 			
4 本書の 特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーバリアフリー、ユニバーサルデザインが採用されており、未学習の漢字には、見開きごとに振り仮名がついている。 ・巻末の数学マイトライでは、伝統と文化、福祉、生活、他教科と数学との関連付けた内容や国際理解を深められる内容を取り上げ、我が国を愛する心や他国を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。 			

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

理 科

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	理 科
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1年	2年	3年	東京書籍 株式会社	
理科701 新しい科学 1	理科801 新しい科学 2	理科901 新しい科学 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「結果の見方」や「考察のポイント」などで結果の分析や考察のための視点を示し、キーワードを用いてまとめる場面が設定されていたり、つまずきやすい内容については「例題」、「練習」、「確認」を設定することで基礎・定着を促したり、定着度の低い内容にはDマークをつけ、デジタルコンテンツを活用することでつまずきの解消を図れたりするよう工夫されている。単元末には「確かめと応用 活用編」を設け、全国学力・学習状況調査型の問題、PISA型の問題にも対応でき、基礎基本の確実な定着が図れるよう配慮されている。 ・単元全体を通して、生徒に意識させたい探究の過程が明確に示されているとともに、「【問題発見】レッツスタート!」や「課題に対する自分の考えは?」など探究の過程に直結した学習活動が配置されており、思考力・判断力・表現力等の育成につながるよう配慮されている。 ・各章の学習前後に同じ問いかけに答える「Before&After」によって、生徒が自らの成長を実感することができたり、生徒が探究活動の意義や進め方をイメージできるようにイラストで具体的に分かりやすく示したりしている。各節の終わりに、「【活用】学びをいかして考えよう」を設定し、新たな疑問を投げかけることを通して、更なる探究へと繋げていけるように工夫されている。 ・全ての節の導入で、生徒が自ら気づきを得たり、認知的葛藤を生じたりする「【問題発見】レッツスタート!」の問いかけを設けることで生徒の主体性を高めている。また対話の具体例を示すことで対話のきっかけを促し、活発な議論へとつながるよう配慮されている。また「つながる科学」などで生徒の興味・関心を喚起する内容を掲載したり、「科学のミカタ」で理科の考え方のポイントを示したり、「学びを活かして考えよう」では日常生活と社会との関連から新たな課題や問いかけを設けたりして、深い学びにつながるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各節導入の「問題発見」やコラムなどで、身のまわりの事象について考えさせる場面を設け、興味・関心を高め、主体的に学べるようになっている。 ・つまずきやすい箇所には、「例題・考え方・練習・確認」を掲載してていねいに解説し、知識・技能のつまずき解消に工夫されている。 ・中学校上位学年や高等学校理科につながる内容を、発展的な学習内容として取り上げて関連を図り、学習意欲の向上につなげている。 ・スリムな判型で、観察・実験の流れや実験器具の使い方などを見やすく1ページにまとめてあり、手順もたどりやすくなっている。そのため、観察・実験の安全性を高めることができている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の初めなどには、「これまでに学んだこと」で単元の学習内容と関連付けた既習内容が示されており、系統性を意識して学べる工夫がされている。 ・各単元の指導時期や内容の関連性をふまえ、生徒の科学的概念の形成に配慮された単元の配列になっている。 ・学習内容と他教科との関連が「～で学ぶこと」で示されている。また、他教科と関連する内容について、他教科の教科書紙面PDFがデジタルコンテンツとして用意されており、具体的な関連する内容について把握できる。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインの観点から、あらゆる生徒に対応できるよう色の工夫や線の形を変えたり、見出しや図のタイトルなどでは、必要に応じて文字の大きさを変えたりするなど、見やすい配慮がなされている。 ・現行よりも40ミリ大きいA4スリム判を採用することで、生徒にとっては探求活動や授業の流れが分かりやすく、視線の移動が少なくすることで実験や観察などの手順や注意事項を確認しやすくなるよう工夫されている。 ・各学年にペーパークラフトの巻末付録があり、平面では理解しづらい内容も立体化されることで理解のサポートとなりつつ、ものづくりの関心・意欲を高める機会になるよう工夫されている。 			

			種 目	理 科
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	大日本図書 株式会社	
理科702 理科の世界 1	理科802 理科の世界 2	理科902 理科の世界 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元末の「読解力問題」では学んだことを活用し、更なる思考力、判断力、表現力の向上につながるよう工夫されている。また、「つながる」では学習内容に関連する内容を教科横断的な視点で履修学年と共に示し、基礎基本の定着につながるようになっている。 ・ 各単元では、観察・実験や「やってみよう」などの活動を重視し、課題の把握、課題の探求、課題の解決といった課題の過程を意識した構成になっている。また各単元末に「探究活動」のページを設け、生徒が課題を見だし、見通しをもった実験・観察を行い、得られた結果をもとに分析し、解釈するなどの活動が身に付けられるよう工夫されている。 ・ 導入では、学習内容に関連する身近な事物現象から問題を見つけ、課題を見出す構成になっており、「くらしの中の理科」では、日常生活や社会に関連させた話題を紹介し、生徒が興味・関心高めながら主体的に深い学びを実現できるように工夫されている。 ・ 各単元末に「探究活動」を設け、その単元で学習したことを活用して探究的に課題を解決していく活動を通して、主体的、対話的で深い学びを実現できるようにしている。 ・ 「問題を見つけよう」、「計画を立てよう」、「話し合おう」などの活動では、キャラクターの会話場面を掲載し、対話的な学びを促している。 ・ 「Professional」や「科学のあしあと」では科学に関連した職業や科学の歴史などに触れ、理科の有用性につながるよう工夫している。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダイナミックな写真や図を効果的に掲載し、わかりやすい文章をすっきり見やすくレイアウトすることで、生徒が興味、関心を高められるようにしてある。 ・ 学習内容に関連する他教科の学習内容を履修学年とともに示してある。 ・ 実験・観察においては、安全や環境への配慮を十分に検討し、必要な場合には方法を改良したり、「注意マーク」で留意事項をしめしたりしてある。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校との関連を重視しながら、発達段階に応じた配列になるよう配慮されている。 ・ 各単元の初めには、「これまでに学習したこと」として小学校から学習した内容を簡単に振り返り、「これから学習すること」で単元の見通しがもるよう工夫されている。 ・ 「つながる」では、関連する他教科での学習内容が示されている。また、「ことば」の項目においては関連する語句の説明や英語での表記も示されており、他教科との関連が図られている。 ・ 無料のデジタルコンテンツが豊富に用意されており、対応するページにマークが表記されている。また、情報活用能力に対応した活動や資料も掲載され、ICT教育への対応がされている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、吹き出しの文章は読みやすくなるよう文節で改行されていたり、特別支援教育や発達段階に配慮し、全ての生徒にとって分かりやすく、読みやすくなるよう工夫されている。 ・ 巻末の資料では、科学館や博物館、動物園やジオパークなどを紹介し、理科の学習への活動を促すとともに、自然や地域の特色などに生徒が興味・関心を高めることができるような工夫がされている。 			

教科用図書の記号・番号・名称			種目	理科
1年	2年	3年	学校図書 株式会社	
理科703 中学校科学1	理科803 中学校科学2	理科903 中学校科学3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード教材として、「学習のまとめ」と「単元末問題」が設けられ、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ることができる。学習内容と日常生活とのつながりとして、各単元末に「学びを日常にいかしたら」を設定しており、身近な事物・現象を題材にした課題解決を通して、知識を活用し、理解を深めることができるよう配慮されている。 ・「探究の進め方」では、探究の過程が分かりやすく説明されており、3年間を通じて科学的に探究する力を育成することができるよう工夫されている。 ・単元末には「学び続ける理科マスター」が設定されており、深い学びにつながる活動例を示し、学習内容を振り返るとともに発展的な内容に触れることで、知的好奇心を高め、主体的に学習が進められるよう工夫されている。 ・巻頭の「理科のトリセツ」では、具体的な例を挙げながら主体的・対話的で深い学びの実現に向け、丁寧に説明している。 ・キャラクターを使用して、話し合いの場面を増やすことで学習における対話の重要性を強調している。 ・章のはじめに「Can-Do List」を設定し、生徒が見通しをもって学習したり、章の終わりの「何ができるようになったか」では章のはじめの「Can-Do List」の内容を振り返ったりすることで、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの課題が記載されていて、それに対してどのような見方や考え方をしていけばよいのかということが示してある。 ・教科書の巻末にホワイトボードとして機能するページが設けてあり、生徒同士の話し合い活動に活用することができる。 ・自学自習用の基本問題を、二次元コード教材や指導書ワークシートとして提供されている。 ・実験、観察の結果例を明確に示し、考察では結果のどこの部分に注目して分析、解釈するのかという考え方が例示してある。 ・実験、観察の手順が丁寧な記述とともに、写真で記載されていて視覚的にわかりやすい。 ・新学習指導要領での新しい実験を従来の器具を使って実験できるように工夫されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の内容がすべて3章に整理されており、全学年を通じて学習内容の区切りがわかりやすい。 ・各単元の初めに、「ふり返ろう・つなげよう」で既習事項との関連が図られており、見通しをもって学習することができる工夫がされている。 ・探究活動の充実や基礎基本の定着など、生徒の実情に応じた手当てができるよう、ゆとりのある時数配分、年間指導計画となっている。 ・学習内容と他教科との関連が「つながり～」で示されている。また、各巻巻頭に職業と学習内容の関連について「ミッションX」で紹介されており、学びの有用性について感じることができる。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のカラーユニバーサルデザインやユニバーサル書体の使用に加え、紙面のデザインを控えめにし、本文の情報を厳選し、重要な内容を箇条書きにすることで分かりやすく表現されている。 ・サイズが大判になっているが、基本やまとめの問題、プログラミング教材などがQRコード教材としてまとめられて、従来の教科書より20%以上軽量化されたことで、生徒の負担軽減に配慮されている。 ・巻末に「学びの交換－アイデアボードー」があり、全員がホワイトボードをもっていることで意見交換がしやすく学び合うことができるよう工夫されている。 			

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	理 科
1年	2年	3年	教育出版 株式会社	
理科704 自然の探求 中学理科1	理科804 自然の探求 中学理科2	理科904 自然の探求 中学理科3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して取得すべき基礎的・基本的な知識については、「結論を出す」マークで分かりやすく示しており、各単元末に「要点と重要語句の整理」や「基本問題」を設け、生徒が基本的な知識や技能を取得できるように配慮されている。 ・既習内容が、日常生活や社会で活用されることについて「ハローサイエンス」で触れられており、得られた知識を実生活と関連付けて理解を深められるよう工夫されている。 ・探求を進める中で、観察・実験などが適切に位置づいている。単元全体を通して、探究の過程がアイコンで示されているとともに、各単元の中で「疑問から探究してみよう」を設定し、見通しをもって「仮説を立てる」や「計画を立てる」を行い、論理的な思考に基づいて判断する「考察する」が設けられ、科学的思考力・探求力等を育成できるよう配慮されている。 ・「学習前の私」と「学習後の私」が設定されており、単元全体を見通したり、適宜、学習過程を振り返ったりすることができるよう構成されている。特に、「学習後の私」を確認することで、さらに探求を進めたい、学習を深めたいという意欲につながるよう工夫されている。 ・「疑問を見つける」の場面では、生活体験や自然の事物・現象から問題を見いだすだし、生徒が主体的に学習を進められるよう工夫されている。活動の流れの中で「考えよう」や「話し合おう」が適宜設定され、話し合い活動を通して自分の考えを広げたり、深めたりできるよう配慮されている。また、科学的な問題や日常の疑問について考える場面として、「活用しよう」を設けており、日常と関連づけながら学習内容についての理解が一層深まるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の始めには、身近な現象や不思議な現象をダイナミックな写真で紹介するとともにこれまでの学習を振り返る「これまでの学習」と「学習前の私」という位置づけによって興味・関心を高められるよう工夫されている。 ・単元末の「要点と重要語句の整理」で要点や重要用語を目立つ色や書体の文字、図などでわかりやすくまとめてあり、基礎・基本の定着の確認や自宅での復讐に役に立っている。 ・観察や実験で使用する器具や装置の操作、必要となる基礎的な技能などを「基礎技能」としてわかりやすくまとめてある。また、「禁止マーク」や「注意マーク」が記載されており、より安全に観察や実験が行えるように工夫されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・標準的な単元配列や既習の基礎技能など汎用的なものは巻末にまとめ、指導計画上、単元の組み換えを行う際にも使用しやすい構成となっている。 ・各単元の初めには、「学んでいくこと」に既習内容と単元の学習内容について関連づけて示されている。 ・発展的な内容について、「発展」マークを付して、学習指導要領に示される当該の学年の内容とは明確に区別し、発展先の高校の基礎科目などを明確に示している。 ・各単元の学習には、探究的な学習指導ができるよう、ゆとりのある内容構成となっている。 ・巻末に、「理科で使う算数・数学」が掲載されている。また、「校外の施設を活用しよう」では、地域の施設を活用して学習を深める方法について掲載されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・大判化することにより、ダイナミックな資料写真の掲示と生徒が分かりやすく、見やすい紙面になっている。また、測注レス縦方向レイアウトにより、読み手の視点移動で迷いにくく、文章に対応した写真や図版をできるだけ近くに配置している。 ・多くの人が識別しやすい色づかいであるカラーユニバーサルデザインに配慮しつつ、発達段階に対応した文字サイズやフォントが使用され、誰でも見やすく、読みやすい紙面になるよう工夫している。 ・教科書の内容と関連あるコンテンツを集めた「まなびリンク」の活用で、学校の授業だけでなく、自宅での家庭学習にも活用できるよう工夫されている。また身近なICT機器の活用法についても紹介している。 			

種 目			理 科
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称			発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 新興出版社啓林館
理科705 未来へひろがるサイエンス1	理科805 未来へひろがるサイエンス2	理科905 未来へひろがるサイエンス3	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が理解しにくい内容や誤解しやすい内容に「例題・練習」, 「なるほど」のコーナーが設置され, 基本的な知識の定着が図れるよう工夫されている。また「表現してみよう」で, 観察・実験の結果を科学的な言葉や概念を用いて表現したり, 説明したりする活動が設定されている。 実験・観察においては, 「探究の振り返り」が設定されており, 仮説や計画の妥当性を吟味したり, 新たな課題を探したりして, 深い学びにつながるよう工夫されている。また単元末の「ひろがる世界」では, 社会状況を反映した話題や最新の科学技術, エネルギー問題などに関する話題が取り上げられ, 単元の学習を広げ, 深めるように工夫されている。 単元導入に新設された「学ぶ前にトライ!」で, 単元を貫く本質的な問いが設定されており, 生徒が何のために学ぶのか? が意識できる。更に, 単元末の「学んだ後にリトライ!」では, 単元導入の問いを再考することで, 自身の成長や学びの深まりが実感できるよう工夫されている。また「部活ラボ」や「お料理ラボ」など日常生活や社会との関連付けた内容が充実し, 理科を学ぶ有用性を実感できると共に興味・関心を高めつつ, 生徒への主体性や探求心を育むことにつながる。 単元導入や章などで, 生徒の興味・関心を高めるビジュアルな写真・資料が示され, 主体的に問題を見いだせるような構成となっている。 「探Q実験」では, 理科の見方・考え方を働かせたキャラクターの対話例が示されており, 対話が豊かになるよう配慮されている。問題を見いだす場面や実験計画を立てる場面, 考察の場面での対話例を通して, 探究の過程において着眼させたいポイントを示すなど, 話し合い活動の充実につながるよう工夫されている。 単元末の「みんなで探Qクラブ」では, 身に付けた探究の力を自由研究やパフォーマンス課題などとして活用し, 科学的に探究する活動を通して, 深い学びにつながるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 「科学にアクセス」の二次元コードを読み取ると, 単元の導入動画が視聴でき, 生徒の興味・関心や学習意欲が向上するように配慮されている。 文字サイズが学年によって設定されており, 生徒が小学校教科書から中学校教科書にスムーズに移行できるように配慮されている。 二次元コードを読み取ると, フラッシュカードによる繰り返し学習が可能である。 観察・実験の「安全マーク」により, 文字とアイコンを組み合わせることで注意すべき内容が確実に伝わるように配慮されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決的な学習を行うことを考えたゆとりのある時数配分となっている。また, 地域の気候特性や各学校の履修形態に合わせて, 単元順序の入れ替えが行えるよう工夫されている。 「お仕事ラボ」「お料理ラボ」「防災減災ラボ」で地域と連携した活動につながるよう工夫されている。 「算数・数学との関連」「理科でよく使う算数・数学」や「～と関連」で他教科との関連が示されている。 各単元の導入では「つながる学び」で単元の学習内容とつながる既習事項を示している。 「発展」として高校の学習内容が示されており, 学習の系統性が意識できるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> サイズがワイド化されたことで写真と図が豊富に掲載され, それらが大きくダイナミックにレイアウトされている。生徒の探求心や興味・関心が高まることにつながる。 本文の幅が一定で, 途中に図や写真を挟まないレイアウトになって, 図や写真を紙面上部に集められており, 生徒が視覚的に認知しやすく, 落ち着いて本文を読み進められるよう配慮されている。 本文や見出しなどの文字にユニバーサルデザインフォントが採用され, メディア・ユニバーサル・デザインの観点から, 色覚の個人差を問わず, 全ての生徒が支障なく学習を進められるように配色・デザインが配慮されている。 巻末にある探Qシートは各単元に設定された「探Q実験」に対応しており, 生徒自身が主体的に探究できるような工夫がみられる。また裏面の探Qラボを活用することで, さらに探求活動をサポートできるようになっている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

音 楽 (一 般)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	音楽 (一般)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1年	2・3年		教育出版 株式会社
音楽701 中学音楽1 音楽のおくりもの	音楽801 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの	音楽802 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱(うたう)・創作(つくる)・鑑賞(きく)の学習をバランスよく色別に配置し、音楽に関する幅広い知識と技能を身に付け、豊かな情操を養えるように工夫されている。 ・主要教材による学びを基盤にして「ACTIVE!」「比べてみよう」「深めてみよう」を活用することによって、曲想と音楽の構造との関わりなどをまとめ交流できるように配慮されており、より確かな知識や技能を身につけるとともに、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。 ・「学びのユニット」では教材名、学習のねらい、学習を生かして比較する教材を示し、共通事項となる音楽を形作っている要素を「学びの手がかりになるヒント」として表すことによって、主体的に協働的に学ぶことができるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の自然や四季、文化等の美しさを味わえるよう巻頭から色鮮やかなカラー写真とともに歌唱共通教材を掲載し、生徒の興味関心を引き出しながら音楽で表現される生命の尊さや自然の大切さを理解し、尊重する態度を養う工夫がなされている。 ・「話し合おう」では考えたことを交流するなど、他者と協働しながら表現を工夫したり音楽の良さや価値を考えたりできるように示されており、言語活動の充実への工夫もなされている。 ・創作では学習目標とともに活動の手順がわかりやすく示されており、生徒が進んで学び合う活動ができるよう配慮されている。 ・「Let's Sing!」「Let's Try!」では表現するための技能をイラストや図を用いてわかりやすく提示し、補充的な学習の配慮がなされている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞と表現の活動を関連づけて示されており、我が国や郷土の伝統音楽のよさや美しさを味わいながら、愛着をもつことができるように工夫されている。 ・我が国の自然や文化、日本語の美しさを感じ取れる教材を扱い、音楽を愛好する心情、美しいものや崇高なものを尊重する態度の育成など道徳教育に関連した配慮がなされている。 ・二次元の読み取りバーコードやURLを掲載し、教材の内容に合った動画や音声、ワークシートを活用することで、補充的・発展的な学習ができるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱(うたう)・創作(つくる)・鑑賞(きく)の学習が色別に示されており、それらのバランスが配慮されている。 ・楽典の内容を見やすく巻末の折り込みで3ページ分掲載し、参照しながら学習することが可能となるように配慮されている。また、その裏面には和楽器や洋楽器の楽器名とその説明文を示してわかりやすく掲載している。 ・色彩が鮮やかで発色がよく、美しいカラー写真を多く取り入れるなど、生徒の視覚的な関心を引きやすいよう工夫がなされている。また、白を基調としており、情報の配置も見やすく、色覚特性の多様性などの観点からインクルーシブ教育への配慮がされている。 		

		種 目	音楽 (一般)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1年	2・3年		株式会社 教育芸術社
音楽702 中学生の音楽 1	音楽803 中学生の音楽 2・3上	音楽804 中学生の音楽 2・3下	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞教材をバランスよく取り入れ、音楽のよさや美しさを味わえるよう、幅広く多様な価値観を養いながら音楽活動に主体的に取り組める工夫がなされている。 ・「深めよう！音楽」では学習の具体的な手順や取り組み方をわかりやすく示してあり、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 ・生徒が目標を意識しながら主体的に取り組むことができるよう、全ての教材で学習目標が大きく示されており、それに迫るための具体的な学習活動が例示されていて、学習内容が把握しやすい。 ・「音楽的な見方・考え方」を学ぶ際の大切な視点となる「音楽を形作っている要素」が各教材に例示されており、音楽科の確かな学力を育むための工夫がなされている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域の文化や伝統音楽、伝統芸能についての写真や資料が充実されており、生徒がそれらを身近に感じながら我が国や郷土の音楽文化を愛するとともに、それらを尊重する態度が養えるよう配慮されている。 ・紙面上の二次元コードを読み取ることによって、音声や動画などのコンテンツを視聴・閲覧が可能であり、ICT機器を活用して生徒の補充的・発展的な学習への工夫がなされている。 ・カラー写真やイラストを多く使用し、生徒がイメージしやすく、音楽の美しさや楽しさを十分感じ取ることができるよう配慮されている。 ・「My Melody」では、3年間を通して創作活動が徐々に深まるよう工夫されている。 ・「生活や社会の中の音楽」では、学年に応じたテーマ示し、生徒が音楽と生活・社会との関わりを意識しながら、徐々に視野や価値観を広げられるよう工夫がなされている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の価値や生命の尊さ、郷土愛、国際理解等、教材の内容から道徳科との関連が深い教材が多数掲載されている。 ・生徒が自分自身のよさや可能性を認識して、自他共に大切であることを認めることができるような歌詞や内容を取り入れた教材が掲載されており、人権教育についての関連が図られている。 ・小学校での学習内容と関連付けながら、生徒の発達段階に応じて系統的で一貫性のある学習の内容の配列がなされている。 ・学習内容が一目できるよう「学びの地図」として、新学習指導要領に示された三つの資質・能力音楽科で身に付けられる資質・能力がわかりやすく示されており、教材を通して生徒がどのような音楽の力を身に付けられるのか見通しをもって学習が進められるように工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩が鮮やかで発色がよく、美しいカラー写真を多く取り入れるなど、生徒の視覚的な関心を引きやすいよう工夫がなされている。また、白を基調としており、情報の配置も見やすく、色覚特性の多様性などの観点からインクルーシブ教育への配慮がされている。 ・「心通う合唱」では、震災復興を願う楽曲や幅広い年齢層から人気のある楽曲を取り入れ、人々の思いをつないだり誰かを勇気づけたりする力を実感しやすい選曲がなされている。 ・「耳でたどる音楽史」では、世紀や時代とともに日本と西洋を並列させるとともに作曲家の肖像画や代表曲を組み入れ、理解しやすくまとめられている。 ・「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、著作権や音楽を利用する際の留意点など、情報モラル等の内容も取り扱っている。また、音楽が生み出される仕組みについても掲載し、音楽情報の取り扱いについて学習する工夫がなされている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

音 楽 (器楽合奏)

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	音 楽 (器 楽)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		教育出版 株式会社	
器楽751 中学器楽 音楽のおくりもの			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な楽器と演奏家を掲載して、音楽に関する幅広い知識と技能を身に付けながら、豊かな情操を養う工夫がなされている。 ・見開きごとに「学びのねらい」を明示し、それをこれから学ぶべき学習内容のスタートとして、生徒に学習の見通しをもたせながら、進んで学び合う活動ができるよう配慮されている。また、その学習のゴールを「まとめの曲」として掲載し、音楽表現の豊かさやその曲の美しさを味わいながら、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。 ・楽曲ごとに「学びのポイント」を示し、生徒が主体的に器楽の活動に取り組めるよう配慮されている。 ・和楽器の音色や響き、奏法や楽曲の特徴をわかりやすく掲載し、我が国の音楽文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。 ・「話し合おう」「聴いてみよう」では、自分の考え方や見方をまとめ、他者に伝える活動が示されており、他者と協働して対話的で深い学びとなるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・和楽器が多く取り上げられており、各楽器の説明や奏法について丁寧に示されている。また、楽器ごとに演奏家から生徒たちに向けたメッセージが掲載されていて、個人の価値を尊重するとともに創造性を養うのに有効な手立てとなっている。 ・楽器の音の出し方から、楽器の特徴や仕組みをとらえ、共通点や相違点を考察できるよう書き込み欄を設けるなど、発展的な学習への工夫がなされている。 ・「名曲旋律集」では、生徒にとって親しみやすい曲が多く掲載されており、興味関心がもてるよう工夫されており、音楽表現の豊かさや曲の美しさを感じ取りながら基礎的な技能が身につけられるように配慮されている。 ・巻末のギター・キーボードコード表は、生徒が必要に応じて見られるよう分かりやすくカラーで示されており、発展的な学習の手立てとなっている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各楽器がバランスよく配置されている。 ・演奏家の言説を扱い、自他の敬愛を重んじ、公共の精神を養うなど道徳教育との関連が図られている。 ・二次元の読み取りバーコードやURLを掲載し、教材の内容に合った動画や音声、ワークシートを活用することで、補充的・発展的な学習ができるよう工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダー曲では、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの両パターンで楽譜を掲載し、生徒が表現活動に意欲的に取り組みながら、その能力を伸ばし、創造性を培えるよう配慮がされている。 ・「Let's Play!」「Let's Try!」では、生徒が親しみやすい教材が掲載されており、興味をもって表現活動に取り組むことができるよう工夫されている。また、教材ごとに「学びのポイント」が示されており、生徒が主体的に活動できるように配慮されている。 ・色彩が豊かで、カラー写真が多く、楽器の特徴や知識、基本的な奏法がわかりやすく示されている。 		

		種 目	音楽 (器楽合奏)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		株式会社 教育芸術社	
器楽752 中学生の器楽			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や諸外国に伝わる様々な音楽を取り入れ、生徒が多様な音楽文化に触れながら表現活動ができるよう工夫がなされている。 ・楽器の特徴や知識がわかりやすく示されており、また、その楽器を使用した楽曲が紹介されているため、生徒が興味をもちながら、その楽器のよさや美しさを味わえるよう工夫がなされている。 ・「深めよう！音楽」では学習の具体的な手順や取り組み方をわかりやすく示しながら、生徒が器楽の活動を通じた「学び」に注目できるよう、主体的・対話的で深い学びを促す工夫がなされている。 ・「アンサンブルセミナー」では「音楽的な見方・考え方」を学ぶ際の大切な視点となる「音楽を形作っている要素」が教材に例示されており、音楽科の確かな学力を育むための工夫がなされている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの基礎教材が充実しており、アルトリコーダーの楽譜に加え、ソプラノリコーダーの楽譜が多く掲載され、小学校からの接続や系統性を重視して学習を進めることができる。 ・楽器の基本的な技能・奏法や演奏する上での留意点を丁寧でわかりやすく示し、生徒が学習を進める中でつまずきやすい箇所を補う工夫がなされている。 ・8小節程度の単旋律から重奏まで幅広い楽曲が取り上げられ、発達の段階に応じて教材が選択できるよう工夫されている。 ・巻末にあるリコーダー運指表、ギター／キーボードコード表、楽器の図鑑は見開きで見やすい一覧表になっており、器楽学習を進める上で、調べ学習や発展的な学習がしやすいよう配慮がなされている。 ・「楽器でMelody」ではクラシック曲からポピュラー曲まで幅広く取り扱い、生徒が興味関心をもって取り組むことができるよう工夫されている。 ・紙面上の二次元コードを読み取ることによって、音声や動画などのコンテンツを視聴・閲覧が可能であり、ICT機器を活用して生徒の補充的・発展的な学習への工夫がなされている。 ・和楽器「箏」については、音楽（一般）で取り上げられている教材と関連する教材が掲載されているとともに、平調子を学ぶのに効果的かつ伝統的な教材を用いて学習を深める工夫がなされている。 		
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の尊重や国際理解等、教材の内容から道徳科との関連が深い教材が多数掲載されている。 ・全学年を通して、学習指導要領の内容に示された学習が段階的に進められるような教材選択がなされている。 ・学習内容が一目できるよう「学びの地図」として、新学習指導要領に示された三つの資質・能力音楽科で身に付けられる資質・能力がわかりやすく示されており、教材を通して生徒がどのような音楽の力を身に付けられるのか見通しをもって学習が進められるように工夫されている。 ・和楽器については、音楽（一般）で取り上げられている教材と関連する教材が掲載され学習を深めることができる。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩が鮮やかで発色がよく、楽器を大きく掲載するなど、とても見やすくレイアウトされている。 ・ソプラノリコーダーでの教材が充実している。 ・生徒の興味を高めるようなアンサンブル楽曲が多く掲載されている。 ・打楽器の種類が豊富であるとともに、様々なジャンルの曲が選曲され、幅広い学習活動ができるよう配慮されている。 		

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

美 術

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		開隆堂出版 株式会社
美術 701 美術1 発見と創造	美術 801 美術2・3 探求と継承		
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・領域ごとに扉のページを設け、学ぶ内容や魅力、学習の流れ等を示し、学習の意義や方法を理解させた上で実際の学習につながるよう構成されている。 ・作者の言葉を多数掲載し、作品への興味・関心を高めるとともに、発想や構想、表現方法の手がかりとなるよう配慮されている。 ・発想・構想の方法や進め方、制作の様子や手がかり等をわかりやすく示し、理解しながら制作していく手助けとなるようになっている。 ・各学年の巻末に、知識・技能に特化した資料ページ「学びの資料」を設け、学習を深めたい生徒やつまずいた生徒がすぐに参照することができるようになっている。 ・日本文化の魅力を伝える「日本らしさ」のページを美術2・3に14ページにわたって設け、日本の文化や魅力を発信できる人材の育成につながる構成になっている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末資料「学びの資料」に掲載されている作品に、人気漫画やアニメ映画など、生徒の興味を引くものを数多く取り入れ、美術への関心を高める工夫がされている。 ・1年生の導入「学びの地図」で、美術の学習をわかりやすく紹介しており、美術の活動が身近に感じられるよう工夫されている。 ・版画の町鹿沼市という観点から版画の取り扱いを見てみると、美術1では、コラグラフの技法が、2・3では多版多色木版や凹版、スチレン版画など、多様な内容が紹介されている。 ・木工の町鹿沼の観点から、美術1の「木を暮らしに生かす」で木工芸品を、美術2・3で「木でつくる遊びの形」木のおもちゃの紹介がある。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・一冊ごとに生徒の学習の展開に沿った構成になっており、3年間を通して、各領域・各題材のつながりを意識して学習を展開することができる。 ・学習の目標が、「知」「思」「学」の三つのマークで整理され、育成したい資質や能力を三つの目標として、生徒にわかりやすく記載されている。 ・1年生で一冊、2・3年生で一冊の2冊構成になっている。そのことにより、効率よく学習が進められるよう配慮されている。 ・年間授業時数をふまえ、それぞれの分野がバランスよく配置されている。かつ、表現技法も数多く紹介されており、各学年の発達段階やつながりも配慮されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインや、ユニバーサルデザインフォント、総ルビ等を採用し、特別支援教育やインクルーシブ教育への配慮がなされている。 ・鑑賞では、作品の原寸大部分や、部分拡大の写真を掲載し、小さい図版では見えないような細かく繊細な表現まで鑑賞できるよう工夫されている ・日本各地のさまざまな造形を取り上げ、美術を通して日本各地の文化に興味を持ったり、身近な地域について知ったりすることができるよう配慮されている。 ・QRコードを紙面に掲載し、学習の参考となる動画や、さまざまな資料を提供したコンテンツに瞬時にアクセスできるよう工夫されている。 ・用具の安全な使い方や、配慮すべき内容等に「！」のマークをデザインしたロゴを掲載し、安全指導への配慮がなされている。 		

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		光村図書出版 株式会社
美術 702 美術 1	美術 802 美術 2・3		
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1つの題材の中で表現と鑑賞を一体的に学べるよう構成されている。題材のはじめに位置づけられた鑑賞のマークには、対話が生まれるような問いが示されている。 ・ 表現中心の題材には、生徒の写真やアイディアスケッチ等を掲載し、どのように発想を広げ、構想を練っていけばいいのかが具体的に示されている。 ・ 生徒の活動の様子やコメントも効果的に使われ制作を身近に感じることができる。 ・ 鑑賞のページでは、関連性の高い作品を1つの題材で扱い、比較して鑑賞することで、作品の理解を深められるよう工夫されている。 ・ 教科書の巻末に、技法、材料や用具、形と色彩、美術史年表など、学習を支える資料が多数掲載され、それらの資料の振り返りがしやすく、授業の中で活用しやすいよう工夫されている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体を通して、写真に写る生徒や登場するキャラクター等に、性別による偏りが見られない。性別や国籍による偏りもなく、多様性を尊重しながら学ぶことができるよう配慮されている。 ・ 版画の町鹿沼市という観点から版画の取り扱いを見てみると、美術1では、鑑賞教材として木版やシルクスクリーンが掲載され、巻末資料に詳しく基礎技法が取り上げられている。美術2・3では鑑賞教材として北斎の作品が原寸大で掲載されている。 ・ 木工の町鹿沼の観点から、美術1「木と親しむ暮らし」で木工芸品を扱い、巻末資料の「木でつくる」で木工の基礎技法を紹介している。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2・3年を1冊にまとめ、豊富な題材を各校の実情に合わせて選択できるよう配慮されている。 ・ 1年では、幼児教育や図画工作とのつながりを考え、2・3年では、身につけた資質や能力をさらに深め、歴史や社会との関係に視野を広げるなど、内容の系統性や学年の発達段階に配慮した構成になっている。 ・ 題材の内容に応じて「表現中心の題材」「鑑賞中心の題材」と領域を明記し、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」という分野ごとに構成されており、生徒が学習の内容をイメージしやすいよう配慮されている。 ・ 鑑賞中心の題材では、他者と会話する、作品を比較する、美術文化について知識・理解を深めるなど、多彩な切り口の鑑賞活動がバランスよく示されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題材に関する技法の動画や掲載作品の音声ガイドなどのウェブコンテンツが用意され、該当するページにQRコードが示されており、生徒の表現活動や鑑賞活動を支援できるよう工夫されている。 ・ カリキュラムマネジメントを意識し、他教科との関連を説明するコラム欄を随所に設けている。 ・ 「最後の晚餐」を鑑賞する題材では、トレーシングペーパーを綴じ込み、書き込みができるようになっている。一点透視図などの作者の工夫が、実感的に理解することができるよう工夫されている。 ・ 本物に近い風合いで作品を鑑賞できるよう、図版の見せ方や紙質に工夫が凝らされている。「鳥獣人物戯画」や版画作品には越前和紙を再現した用紙を採用するなどのこだわりが見られる。 		

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2・3 年		日本文教出版 株式会社
美術703 美術1 美術との出会い	美術803 美術2・3上 学びの実感と広がり	美術804 美術2・3下 学びの探求と未来	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間を通して、「自己・他者」「生活・社会」「世界・未来」と関わりながら幅広く学習活動が展開し、将来へつなげていける構成になっている。 ・題材ごとに多くの参考作品が掲載されており、美術科ならではの見方を育む「造形的な視点」や「作者の言葉」から、生徒が主体的に考えて活動に取り組み、他者との対話や学びを深めるきっかけとなっている。巻末資料「学びを支える資料」で、基礎的な知識や技法を紹介するなどの工夫がされている。 ・発想を引き出し、構想を深める手掛かりとなる、生徒の作業の様子やアイデアスケッチの例などを掲載している。表現活動を身近に感じられるよう工夫がされている。 		
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・3分冊の構成になっており、学年を追うごとに発達段階を考慮して、より充実した学習が展開できるように工夫されている。 ・育成すべき資質・能力の三つの柱に基づく「学びの目標」を生徒向けの言葉で設定し明示してある。 ・版画の町「鹿沼」という視点から、版画の取り扱いを見てみると、美術1の「刷って出会う楽しさ」で版画の仕組みについて紹介している。美術2・3上で扱われている浮世絵版画は、制作工程がわかりやすく、巧みな技法も紹介されていて興味深い。 ・木工の町「鹿沼」という視点から、美術1の「暮らしの中の木の工芸」2・3上の「つくって味わう工芸」で木の制作について、2・3上「手から手へ受け継ぐ」で伝統工芸品を紹介しているので取り組みやすい。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「絵や彫刻」「デザインや工芸」の二つの内容を分類し、鑑賞教材を適度に組み込む配慮がされている。 ・「美術1」では、小学校の図画工作からの繋がりや関連と、3年間を見通せる導入のページから始まる。美術との出会いから、学びの実感と広がり、学びの探求と未来、というテーマで「美術1」から系統的に「美術2・3上下」に発展していく構成になっている。 ・各学年で育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいて学習できるよう、題材が意図的に関連づけて構成され、発達段階に応じた指導ができるようになっている。 ・鑑賞では、日本に関するもの、歴史的なもの、現代社会の問題を取り上げたものなど、豊富に取り上げられている。 ・道徳と関連する題材をマークと文字で明示し、関連付けて指導できるように配慮されている。2・3下「あの日を忘れない」では、自然災害や戦争をテーマにした作品を通し、平和や人権の意識を高め、美術の力について考えを深める題材を紹介している。また、家庭や地域、社会に結びついた題材や事例が掲載され、特別活動との関連が図りやすいように工夫されている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の教科書は、A4サイズより横幅があり、見開きの作品には、今までにない迫力がある。原寸大の作品を多く掲載している。美術1「屏風、美のしかけ」では実際の屏風のように折り立てて鑑賞できる図版があり、より実物の作品鑑賞に近い体験ができるような工夫がされている。 ・表紙は色鮮やかでインパクトのある作品が掲載されており、図版は豊富で、大きく見やすい。 ・裏表紙に自分のマークを書き入れる場所があり、親しみが持てる工夫がなされており、デザインの実践を楽しめるようになっている。 ・表現や鑑賞の題材として、日本の伝統・美術文化に関する内容を幅広く取り上げ、理解が深められるよう工夫されている。 		

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

保 健 体 育

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
保体 701 新しい保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康な生活と疾病の予防について <ul style="list-style-type: none"> ・運動、食事、休養及び睡眠については、それらが健康にどのように影響するのか、資料をもとに科学的に考えられるように配慮されている。 ②心身の機能の発達と心の健康について <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスの対処方法の具体的な方法や技能として、授業中に短時間に行えるリラクゼーションの実習も取り上げられている。 ③傷害の防止について <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育に関わる内容を重視し、発展的な学習内容の設定がされている。 ④健康と環境について <ul style="list-style-type: none"> ・心身の健康への環境の影響を理解できるよう、本文や資料が精選されている。 <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つける」では、日常経験などから自他の課題発見につなげる発問が設定され、学習課題を自分のものとし、主体的に課題解決に取り組むことができる。 ・「課題の解決」では、内容のまとまりごとに「発問」が設けられ、資料などを主体的に読み解き、より深い理解ができるよう配慮されている。 <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭巻末の口絵、今日的な課題に対応した章末資料、合計50のDマークコンテンツ等が設けられ、実生活に関連づけて理解できるようになっている。 ・「章の扉」に道德教育に関連する場面が示されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書の使い方」が掲載されており、生徒が教科書の4ステップ構成を理解し、学習に主体的に取り組めるよう配慮されている。 <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広げる」や「日常生活に生かそう」では、学習したことを自他の生活に当てはめて考え、更なる学びへの意欲を喚起するような工夫がなされている。 			
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に1単元が1単位時間2ページ構成となっており、各学年とも学習指導要領に示された内容の配当時数内での指導が可能なように構成されている。 <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「章の扉」で道德科の各内容項目との関連が示されている。 ・本文側注欄に他教科との関連が示されている。 			
4 本書の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読みやすいフォント、配色やデザイン等について配慮されている。 <p>(2) その他の特徴点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての単元が「見つける」「学習課題」「課題の解決」「広げる」の4ステップで構成され、学習の流れが分かりやすく、生徒が見通しをもって学習を進められる。 			

			種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	大日本図書 株式会社	
保体 702 中学校保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>①健康な生活と疾病の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食生活と健康では、健康な生活のための多くの具体例が示され、バランスの良い食事を考える重要性を理解できるよう配慮されている。 <p>②心身の機能の発達と心の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の心の変化への対応では、性差による違いがグラフで詳しく掲載されていて、生徒が自分のこととして考えられるよう配慮されている。 <p>③障害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心肺蘇生法については、折り込みページを用いて多くの写真と説明で流れが整理しやすく、実際の場面をイメージしながら取り組むことができる。 <p>④健康と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一酸化炭素と二酸化炭素についての特徴を比較しながらまとめられている。 <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての小単元で本文を左ページ、資料を右ページに分けることで学習内容の要素が見やすく、参照性が高まるので活動が行いやすくなっている。 ・各章末の「学びを活かそう」で自らの課題を発見し、資料から読み取る、友達と話し合うなど思考を広げ深めていく活動を通じて、深い学びが実現できる。 <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報活用能力や情報モラルについて取り上げられており、自分たちの生活との関わりについて理解できるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元導入の「つかもう」では、実生活を振り返る活動を随所に取り入れ、前の学年からの学習内容の円滑な接続が出来るようになっている。 <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ知識」や「発展」などの読み物や資料で、個に応じた学習内容を深めることができるように配慮されている。 			
3 組織・配列等 について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示された内容を基に、「学年別構成」となっている。また、体育理論から保健の順で配列されている。 <p>(2) 他教科との関連について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連については、一目で分かるマークで示している。教科内での関連については、リンクマークでつながりを示している。 			
4 本書の特徴点 について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや本文にUDフォントを採用し、色覚に特性がある生徒に配慮している。 ・奥まで開きやすい造本(アジロ綴じ)や読みやすさに配慮した文節改行を取り入れている。 <p>(2) その他の特徴点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AR技術(現実にある景色や地形、紙面上の画像や図形などのさまざまな情報を基に、タブレットやスマートフォンなどの端末を使って、さらに詳しい情報を得ることができる)を用いたデジタルコンテンツが豊富にある。 			

			種 目	保 健 体 育
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 大修館書店	
保体 703 最新 中学校保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①健康な生活と疾病の予防につて <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙飛行士が宇宙ステーション内で行っている筋力トレーニングや HIV 感染からエイズ発病までのしくみなど写真やイラストを使い、わかりやすく示されている。 ②心身の機能の発達と心の健康について <ul style="list-style-type: none"> ・Q&A 形式の「健康相談コーナー」を設けて、思春期の性に関する身近な疑問を取り上げ、中学生の不安や心配の解消を図るよう工夫している。 ③傷害の防止について <ul style="list-style-type: none"> ・AED の重要性と有効性、心肺蘇生法の方法と技能ポイント等を、図や写真でわかりやすく示している。 ④健康と環境について <ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会の実現の重要性や「海洋プラスチックごみ」を取り上げ、生活と結び付けて考え、発表する学習活動を設けている。 <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学習項目の最後の「学習のまとめ」では、多様な表現活動（「生かそう」「話しあおう」「発表しよう」）を提示し、言語活動やグループなどで対話する場面を多く設けて、対話的・協働的に学ぶことができるように配慮されている。 <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの心と体を取り巻く健康課題に対しては、正しい知識と共に、それらへの対処の方法にも言及している。 			
2 程度・選択・取扱い	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての章とびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」を明示し、系統性のある指導ができるように配慮されている。 <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」では、学習過程で身につけた見方・考え方を確認したり、次の学習につなげたり、実生活で活用したりすることができるように配慮されている。 			
3 組織・配列等について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年別ごとに構成され、体育理論編、保健編ともに、各学年の学習項目日数が均等になるように配列されている。 ・すべての章とびらに「小学校で学習したこと」「この章で学習すること」「高校で学習すること」を明示し、系統性のある指導ができるように配慮されている。 <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科と関連する内容がある場合には他教科マークを設けて、教科横断的な視点で学習が進められるように配慮されている。 			
4 本書の特徴点について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色覚の個人差にかかわらず、すべての生徒が支障なく学習できるよう、色覚特性ごとの色の見え方の検証を実施し、カラーユニバーサルデザインが採用されている。 <p>(2) その他の特徴点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒が学びやすい紙面で構成され、特別支援教育への配慮、個人差や人権、共生への配慮、教育の ICT 化への配慮がされている。 			

			種 目	保 健 体 育
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 学研教育みらい	
保体 704 中学保健体育				
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<p>(1) 学習指導要領に示された目標や内容について配慮されているか。</p> <p>①健康な生活と疾病の予防</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣と健康では、自分自身の生活を確認するチェック表を活用し、自分の生活を振りかえることでより興味をもって学習に取り組めるよう工夫されている。 <p>②心身の機能の発達と心の健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ストレスの対処の仕方やリラクゼーションの方法について、多くの具体例が示されていて、生徒が実生活で活用しやすい工夫がされている。 <p>③障害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな自然災害に対する備えとして、連絡先や避難場所、危険な場所の確認、警報や注意報ととるべき行動の確認などを取り上げ、日ごろからの備えの意識を持つことの大切さを理解できるように配慮されている。 <p>④健康と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 温度や明るさなどの環境について、生活と結びつけて考える課題を多く設け、生徒が実際の生活に生かすことができるよう配慮されている。 <p>(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習及び指導ができるよう配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「課題をつかむ」、「考える・調べる」、「まとめる・深める」と構成が課題解決的な学習の進め方になっており、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がある。 <p>(3) 社会の変化に伴う諸課題について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各章の扉に、「保健体育と情報」のコーナーを設け、身の回りのさまざまな事象や情報が健康に関わっていることを認識できるようになっている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<p>(1) 発達の段階、興味・関心について考慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元末に「探究しようよ！」が設けられ、学習内容に関係が深く、興味を持ちやすい課題を取りあげている。 <p>(2) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各単元末に「探究しようよ！」が設けられ、学習内容に関連が深い課題を示し、習熟度に応じて指導できるような工夫がされている。 			
3 組織・配列等 について	<p>(1) 構成、配列、系統性について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領で示された内容を基に、「学年別構成」となっている。また、体育理論から保健の順で配列されている。 「各章のまとめ」と「学年のまとめ」の2段構成で、指導と評価の一体化を重視した構成となっている。 <p>(2) 他教科との関連について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 随所に「関連」を設定し、運動領域との関連を図れるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<p>(1) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 見出しや本文にUDフォントを採用し、色覚に特性がある生徒に配慮している。 <p>(2) その他の特徴点は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国各地の写真や資料、情報を豊富に掲載し、学習内容を身近なものとして受け止められるよう工夫されている。 教科書と連動したウェブサイト動画や資料を見ることができ、知識や技能の定着を図れるよう配慮されている。 			

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

技術・家庭（技術分野）

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	技術・家庭（技術分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		東京書籍 株式会社	
技術701 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創るTechnology			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の見方・考え方を働かせた深い学びを実現でき、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる工夫がされている。また、技術分野の学習の意義や大切さが伝わる工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実しており、社会の中で技術が果たしている役割がわかりやすく表現されている。見通しをもって学習に取り組める工夫や、他教科とのつながりがわかる工夫があり、生徒が主体的に学習できるよう構成されている。 ・各編には、「D マークコンテンツ」があり、動画やシミュレーションを効果的に用いて、生徒の興味・関心を高める工夫がされている。 ・各編の最後には、「つなげる、広げる」学びを設定し、問題解決的な学習で学んだことを生活や社会に生かしたり、技術を適切に評価、選択、管理・運用、改良、応用について考えたりしていく学習ができるようになっている。 ・環境・消費者・伝統文化・防災・情報モラルなどのマークを設け、現代的な諸課題についても意識しながら学習が進められるように工夫されている。また、随所に「技術の天びん」マークがあり、授業の中で段階的に「技術の見方・考え方」に気づかせる工夫がなされている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・各編の章構成を「理解する」「問題解決に取り組む」「つなげる、広げる」と統一されており、新学習指導要領解説で示されている学習の流れと一致している。各編には生徒が問題解決の学習に主体的に取り組めるように、問題解決例が豊富に取り上げられている。 ・登場人物を利用して、学習の流れや技術の見方・考え方を意識するポイントがわかりやすく示されているため、活動に際して生徒が安心して取り組める工夫がなされている。 ・「技術の匠」マークとともに社会で活躍する技術に携わる人の簡単なコラムやコメントが掲載され、ものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造することの大切さを伝えるとともに、職業観や勤労観の育成も図れるよう工夫されている。 ・巻頭に「技術を読み取る活動」「思考ツールの活用」「フィールドワーク」「インタビュー」「まとめと発表の仕方」などの学習方法を示すことで、主体的・対話的で深い学びが実現されるよう工夫されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各節の初めに「目標」が示されており、本学習の到達目標がはっきりとわかるようになっている。また、各節末に「自己評価」、各編末には「学習のまとめ」（記述式）が示されており、生徒自身の言葉で学習を振り返ることができるよう工夫されている。 ・問題解決例ではさまざまな題材を取り扱い、学校の実情に応じた対応ができるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭のガイダンスでは、「工夫・創造の力が技術を支える」「技術は夢をかなえるためにある」「技術の最適化って何だろう」「未来を創る問題解決」「技術分野の学習を見てみよう」の順序で構成されており、生徒に夢や希望を抱かせるような工夫が多数盛り込まれている。その中の「最適化の窓」は、生活や社会の中から、技術の工夫に気付くことができるように配慮されている。 ・豊富な写真やイラストが取り入れられておりわかりやすい。また、誰にでも読みやすく、ユニバーサルデザインフォント（UD フォント）を使用しており、文章も本文や図表が読みやすく配置されているのでユニバーサルデザインへの取り組みも十分であると判断できる ・基礎的・基本的な技能をまとめてある「TECH Lab（デックラボ）」や各ソフトウェアの操作のポイントが掲載されており、作業やパソコン操作が不慣れな生徒にも、戸惑うことなく作業できるように配慮されている。 		

		種 目	技術・家庭 (技術分野)
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1・2・3年			教育図書 株式会社
技術702	New技術・家庭	技術分野	
技術703	New技術・家庭	技術分野	明日を創造する技術ハンドブック
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の目標(1)(2)(3)に対応させるように1章「つくって学ぼう」、2章「じっくり学ぼう」、3章「学びを深め生かそう」と構成することで、生徒の発達段階に応じて技術の見方・考え方に関心を高め、技術の活用へと育まれるように工夫されている。 ・別冊ハンドブックを活用しながら、実践的・体験的な活動を行うことで、実践に役立つ知識や技能の習得ができるように工夫されている。 ・「やってみよう」を授業に取り入れることで、調べたり考えたりしながら、主体的で対話的な学習がしやすいように配慮されている。 ・「スゴ技」や「技ビト」では地域で活躍する技術や職人を紹介しており、社会の中に生かされている技術を考えることができるよう配慮してある。 ・巻頭には「技術で変わる！私たちの生活」があり、技術が生活や社会の中で様々な問題を解決するために役立っていることがわかりやすくまとめられている。また「環境」「防災」「共生」マークを載せることで生徒が関心を持てるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の理解度や興味・関心に応じて積極的に学習が進められるよう、発展的な学習の内容が「発展」マークとして明示してある。また、写真やイラストを大きく配置することで、生徒に技術への興味・関心を引き出させるような配慮がされている。 ・巻頭では各教室の特徴と安全や安全な作業をする3つの心得を記載してある。また、AやBの内容では「安全な進め方」を内容に応じて記載し、安全や衛生面への配慮が強調されている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・内容については、基礎的・基本的学習内容、実習題材、まとめ、章末問題などで構成されている。道具の操作について「基礎技能」として詳しく掲載されており、それらを利用した実践例へと系統性を持たせるよう配慮されている。 ・学習項目の冒頭に「リンク」マークとともに教科名が示されており、他教科との関連がわかりやすくなっている。D 情報では、小学校で扱う可能性の高いブロック形の言語も示してありプログラミング学習が進めやすいよう配慮されている。 ・A 材料と加工、B 生物育成では、様々な実習例を取り扱うことで、生活の中で実践可能な内容が多く、各学校の実情に合わせた活動が行えるよう配慮されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・本文のフォントサイズも大きく、各内容により色分けがされており、見やすい構成になっている。また適度な余白が設けてあり、写真やイラストが見やすくなるように工夫され、ユニバーサルデザインに配慮されている。 ・各内容の最後に「まとめ」を設けてあることで、学んだ知識や技術について確認できるとともに、章末問題により定着の度合いが確認できるように工夫されている。 ・QRコードを読み取ることで、本文中の作業を動画などでより詳しく見ることができ、作業の効率化が図れる工夫がされている。 		

		種 目	技術・家庭（技術分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		開隆堂出版	
技術704 技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて		株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着と生徒の個性を生かす工夫がされている。 ・「技術の役割」「技術の見方考え方」などガイダンスの内容が充実しており、3年間の学習の見通しが持ちやすくなるよう工夫されている。また、「材料と加工」「生物育成」「エネルギー変換」「情報」の4つの内容毎に関連する写真や学習の流れが示され、学習内容がわかりやすくまとめられた目次が設けられている。さらに題材毎に学習の目標が示され、自己評価および学習のふり返りがしやすくなるような工夫がされている。 ・題材の最初に「調べてみよう」「考えてみよう」「話し合ってみよう」という見出しを設け、問題点等を提議することで、その内容に対してどのようなことを学ぶのか考えやすい。また「課題」では、身近なものを取り上げているため、疑問などの話し合う内容が設定しやすい。 ・各内容における実習例が多く、地域や学校の実態にあったものを選択できるよう配慮されている。特に生物育成では「栽培ごよみ」により、栽培する作物を寒冷地と温暖地に分けて記載しているため、実習期間を選びやすくなっている。 ・各内容の終末において、「技術の課題」や「技術のこれから」が設けられており、生徒がそれぞれの技術の課題について考えられるよう配慮されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのページの下部に「豆知識」マークを設け、学んだ内容をさらに深められるよう工夫されている。 ・「調べてみよう」「考えてみよう」という見出しがあり、生徒が自ら考え学習できるよう工夫されている。また「ふり返り」も設けることで、学習内容を自己評価できているようになっている。 ・循環型社会や持続可能な社会について考えられるよう、技術と環境とのかかわりが「環境マーク」により示されている。また、防災と技術とのかかわりも重視され、「防災マーク」がつけられている。 ・ガイダンスでは「作業の安全」について、技術室やコンピュータ室、屋外での作業中の生徒の行動が安全であるかを考えてチェックできる工夫がされている。また「安全」マークを設け、作業中に気をつける内容については、その都度取り上げられている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「技術分野の学習を始める前に」というページを設け、LEDを例にA、B、C、Dの4つの技術の関連性が示されている。また、各内容について、学習の動機づけ、基礎・基本の確実な習得、問題解決の実施、学習内容のふり返りや評価・活用が重視された配列になっており、今後の学習内容が見通せるよう工夫されている。 ・「リンク」マークを使用し、関連する単元、教科書のページ数などが記載されており、他の内容との関連がわかるよう配慮されている。また各内容の目次には、小学校や中学校他教科との関連も記載されている。 ・さまざまな実習例が取り上げられ、学校の施設・設備の実情に応じた取り扱いが可能になるような配慮がされている。また、各内容のページ右上にはその内容に関連した機器や工具が記載されており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・各内容のはじめに、その内容についての歴史が年表や写真で示されている。 ・「環境」マークを使用して、環境や資源、エネルギーへの配慮について、説明したり考えさせたりできるよう工夫されている。 ・巻末資料として、各ソフトウェアの操作ポイントが記載されているため、パソコンの操作が不慣れな生徒でも操作に戸惑うことなく作業できるように配慮されている。 ・基本技能など、教科書の内容に関係するコンテンツを参照できるよう、QRコードが用意されている。 ・文章中の単語が途中で改行されていないほか、読みやすいUDフォントを使用するなど特別支援教育の観点を生かして作られている。また、色の区別がしやすく、色覚に特徴のある生徒への配慮もされている。 		

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

技術・家庭（家庭分野）

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

		種 目	技術・家庭（家庭分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 ・ 3年		東京書籍	
家庭701 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して		株式会社	
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に示された目標および内容に準拠し、必要かつ十分な内容を取り上げていて適切である。 ・A 幼児の生活と家族では、幼児との触れ合い学習について、実習例として「施設訪問」「中学校への招待」「写真での観察」の3通りの例を示しており、学校の実情に応じて、弾力的に扱えるように工夫されている。 ・B 衣食住の生活では、調理や布を用いた製作の実習の場面において「基礎技能」を写真でわかりやすく示し、基礎的・基本的な技術の定着が図れるよう工夫されている。また、実習例の数も多いので、生徒の興味関心や学校の実態に応じて内容を選択できるようになっている。また、「これだけはできるようになろう！」で基礎的な知識や技能の習得を確認することができるようになっている。 ・C 消費生活・環境では、消費者トラブルへの対処法を考える漫画での活動例などを示し、楽しみながら実践的・体験的な学習活動ができるよう工夫されている。 ・献立作りや調べ学習などの活動を多く取り上げ、生徒が主体的に取り組む工夫がされていると共に、登場するキャラクターからの発問を通して、友達と協働して比較・検討したりする対話的で深い学びが実現できるように工夫がされている。 ・現代社会における課題について「環境」「消費者」「防災」「情報モラル」などのマークを使用し生徒が関心をもって課題に取り組めるよう工夫されている。 ・キャリア教育の関連として「プロに聞く」欄を設け、生徒の勤労観や職業観を育む工夫がされていると共に、巻末には「学んだことを社会に生かす」を設け、家庭分野の学習と将来や社会とのつながりを感じられるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「ガイダンス」が充実しており、小学校での学習内容を振り返るとともに、中学校3年間での学習の見通しをもてるよう工夫されている。また、「問題を解決する道筋」や「生活の営みに係る見方・考え方」の例がわかりやすく示され、問題解決的な学習方法が定着できるよう工夫されている。さらに、「実習を楽しく安全に進めよう！」を設け、各編の実習の章においても「安全」「衛生」のマークなど、写真やイラストを用いて細かく注意を促している。 ・写真や図版は生徒の視線を大切にしており、発達段階に応じて理解できるよう、効果的に配置されている。特に、「献立作りと食品の選択」では、手ばかり・目ばかりの資料として食材が、「幼児の生活と家族」では幼児の靴や箸が実物大で示され、生徒の理解を助ける工夫がされている。 ・章末には「学習のまとめ」が示され、学習の振り返りや生活に生かそうとする意欲を喚起する工夫がされている。 		
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の学習を踏まえた内容を取り扱う場合には「小学校」のマークが示され、小中学校の系統性を意識できるよう工夫されている。 ・「リンク」マークを用い、他の分野に関わりのあるページを示したり、「他教科」マークを用いて他教科との関連についても明記したりと、横断的に学習内容が理解されるよう配慮している。特に、技術・家庭科の特質に応じた道德教育に関連する場面が随所に示され、道德教育の充実にも配慮がされている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙をはじめ、各ページの構成・配色が明るく、生徒の興味関心、意欲を喚起するのにふさわしい工夫がされている。 ・実物大の写真も含め写真の数が多く掲載されているので、見やすく実感をもって学習に取り組める工夫がされている。 ・各ページに「せいかつメモ」として豆知識が載っているので、知識の幅を広げることができる。 ・包丁や手縫いの内容では、左利きの例も取り上げられている。 ・家庭科ならではの独自の言い回しや、名称について「言葉のページ」を設けており、生徒がわかりやすく学習を進められるよう、工夫している。 ・ユニバーサルデザインの視点から、ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、すべての色覚特性に対応できるような色になっている。 ・無料のデジタルコンテンツが用意しており、教科書に『Dマーク』が掲載してあるページは関連する動画を見ることができる。 		

		種 目	技術・家庭科(家庭分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 ・ 3 年		教育図書株式会社	
家庭702 New技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に示された目標及び内容に適合しており、適切である。 ・「見つめる」→「学ぶ」→「振り返る」という一連の流れに沿って学習しやすい構成になっている。項目ごとに「めあて」を明記し、重要な語句が「キーワード」で示されているので、学習のねらいや基礎的・基本的な内容が明確になり、見通しをもって学習に取り組んでいけるような工夫がされている。 ・各分野ともに実習例が豊富に掲載されているので、生徒の興味関心や技能の個人差に応じて選択できるように工夫されている。 ・食文化では全国の伝統野菜やだしの材料、郷土料理などに触れ、多くの資料を用いながら日本の食文化である「和食」の良さを知る手立てとなっている。また、世界に目をむけた資料も多く掲載されており、グローバルな視野を広げる工夫もされている。 ・「考えてみよう」「話し合ってみよう」では生徒の身近な問題を取り上げ、自分の生活をイメージしながら考えを進めていけるように工夫がされている。キャラクターの吹き出しによるヒントが生徒の思考を助けている。 		
2 程度・選択 ・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の生活経験に配慮し、写真やイラスト、アニメのキャラクターが用いられている。また、多様な調理器具や食材の切り方を原寸大で掲載するなど、視覚的にとらえやすい表示がみられ、発達段階に配慮されている。 ・「健康と食生活」では、食品の揭示数、調理例、作品例などを写真で数多く掲載し、生徒や学校の実情に合わせて、生徒の興味関心を高めながら実践的、体験的な学習を進める工夫がされている。 ・「参考」マークでは、学習内容をさらに深めるための資料が多く掲載されている。 ・「発展」マークでは、発展的な学習内容を扱っており、生徒の興味・関心に合わせて実践できるように配慮されている。 ・章末には「学習の振り返り」から「生活の課題と実践」へとつなげ、自分の課題を見つけ、問題解決的な学習が行えるよう工夫がされている。 ・実習時の安全や注意事項をイラストや写真、「安全」マークを用いてわかりやすく示している。 		
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> ・「健康と食生活」では、6つの基礎食品群において、6つのグループを色により区分しており、その色分けを献立作成の学習まで続けて使用することで、関連性が明確に理解できるよう工夫がされている。また、食品の数も多く掲載されていて、食材の分量を考える上で参考になる。 ・「リンク」マークにより、小学校の内容との関連が図られており、また、技術分野や他教科の学習内容を必要に応じて関連づけて示されている。 ・新学習指導要領で新しく加わった「蒸す調理」については、フライパンを使った蒸し料理例が掲載されており、調理実習の計画を立てる上で参考になる。また、身近な調理用具について調理別に分類しながら複数の種類を紹介したり、実習例を豊富に示したりと学校の実情に合わせて学習できるよう工夫がされている。 		
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の口絵では、日本の年中行事がイラストや写真でわかりやすくまとめてある。 ・全体的にキャラクターやイラストが数多く描かれており、生徒の興味関心を高め、楽しく学習を進めていけるような工夫をしている。 ・ユニバーサルデザインの視点から、すべての色覚特性に対応できるような色になっている。 ・読みやすさに配慮した文字の大きさや行間になっている。 ・QRコードがついており、学習にかかわりのある動画や資料を見ることができる。 		

		種 目	技術・家庭科 (家庭分野)
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1 ・ 2 ・ 3年		開隆堂出版 株式会社	
家庭703 技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生			
観 点	調 査 の 結 果		
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に示された目標および内容に適合しており、適切である。 ・項目ごとに「学習の目標」が明確に示されており、生徒自らが本時の授業で学ぶことを見通しながら授業に取り組めるように工夫されている。 ・内容ごとに「持続可能な〇〇生活」のページを設け、環境教育とのつながりをもたせることで、持続可能な社会における生活スタイルについて考えられるよう工夫されている。 ・A 家族・家庭生活では、家族や幼児・高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で項目が構成されている。 ・B 衣食住の生活では、日本各地の様々な地域の特徴や日本文化が示されており、日本の良さを認識できる。また、各内容の最後には、グローバルな視点から今の自分たちの生活を考えさせる記事などが効果的に配置されている。 ・C 消費生活・環境では、他の学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるように工夫されている。 ・学習内容に関連する資料「参考」や実習・実験例「やってみよう」、課題提起「話し合ってみよう」「生活にいかそう」が取り上げられており、話し合い活動や意見を述べる活動などの言語活動ができるように設定されている。特に巻末には「災害からのちと生活を守るために」のページが設けられ、防災意識が高められるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や図表、イラストが豊富に記載され、発達段階を十分に考慮した上で、生徒が具体物をイメージできるように配慮されている。特に、「幼児の生活と遊び」では、幼児の様々な表情をとらえた写真を多く用いてイメージが膨らむよう工夫されている。 ・食物アレルギーに関する記載ページがあるとともに、調理実習例のページでは、アレルギー物質を色分けして表示するなど分かりやすく工夫されている。 ・「豆知識」コーナーでは、学習内容に関して知っておくと便利な情報が記載されている。 ・「健康と食生活」では、食品群別摂取量のめやすの中に1回の食事で食べやすい量が示しており、献立を考える際の参考になる。また、食品の実物大写真を載せ、食品への興味関心を高めると共に、食材名の定着が図れるよう工夫されている。 ・巻末に「生活の課題と実践」があり、生徒が学んだことを主体的に生活に生かすことができるような実践例が多数取り上げられ、生徒の課題に合わせて多様な学習ができるよう工夫されている。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・「小学校での学び」が設定されており、章のはじめに小学校の振り返りができることで、小中学校間の系統性が図られている。高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われている。 ・アイコンを用いて分かりやすくまとめてあり、「リンク」では関連する他の内容項目が、「他教科」では、技術分野や他教科との関連が数多く設定され、学習のつながりを意識し、横断的に理解が図れるようにしている。カリキュラムマネジメントを進める中で役立つと考えられる。 ・学校の実情に応じて、弾力的に扱えるような製作実習例・参考例が豊富である。また、順序の組み換えがしやすく工夫されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・包丁の安全な使い方では、材料の押さえ方で左利きの場合が図示されている。 ・持続可能な生活で国連のSDGsとの関わりを示している。 ・ユニバーサルデザインの視点から、すべての色覚特性に対応できるような色になっている。 ・文章の意味がつかみやすいように、1つの単語が行をまたがないように調整してある。 ・多様な職業の人からのメッセージが「先輩からのエール」で示されているので、キャリア教育の視点から、進路や職業を考えることができる。 		

取扱注意

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

英 語

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	東京書籍 株式会社	
英語701 NEW HORIZON English Course 1	英語801 NEW HORIZON English Course 2	英語901 NEW HORIZON English Course 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の最初に設定されているPreviewでは、Unitで学ぶ言語材料の使用場面や目的などを理解できるように配慮されている。 Unitでは、目的・場面・状況を意識し、5領域をバランスよく活用しながら文法の学習を行うことができる。 Let's シリーズでは、よりリアルな場面設定のもとで実践的なコミュニケーション力を伸ばすことができるよう工夫されている。 各学年3回ずつ設定されているStage Activityでは、複数の技能・領域を統合的に活用し、論理的に表現したり、伝え合ったりする力を育成できるよう工夫されている。 異文化や国際社会、日本の伝統・文化、自然科学や環境、今日的課題（人権、平和、共生など）と多岐にわたる題材が扱われている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> 小学校で学んだ内容を振り返りながら、既習事項を繰り返し学習できるよう配慮されている。 自己紹介や返信メール・手紙の書き方など、生徒に身近な話題を取り上げるとともに、写真や絵などを活用し、学習意欲を喚起することができるよう工夫されている。 「学び方コーナー」では、英語学習のポイントやコツを3学年通して系統的に取り上げ、主体的な学習態度を育成できるよう配慮されている。 巻末のOptional Readingでは、高等学校の学習へ円滑につなぐため、段階的にリーディングの語数を増やし、読解力の育成が図れるよう工夫されている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> 1年生では、小学校との円滑な接続のために十分な期間（Unit 0～5）をとり、小学校の音を中心とする学習を受けとめ、中学校における5領域の力をバランスよく育成する学習へと移行できるように構成されている。 各単元は、導入としての扉、新たな気づきを促すPreview、概要を把握するScene、まとまった分量を読んで表現につなげるRead & Thinkで構成されており、段階的に学習を進められるよう配慮されている。 1ページあたり1時間を基本とし、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成になっている。 各学年3回ずつ設定されているStage Activityでは、複数の技能・領域を統合的に関連付けた言語活動が行えるよう工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> 手軽に新出語句や本文の音声、動画を視聴することができるQRコードが各ページに掲載されており、学校でも家庭でも活用できるよう工夫されている。 小学校で使用している視認性や書きやすさに配慮された書体を使用し、紙面上の要素のデザインや配置を統一しているので、安心して学習に取り組めるよう配慮されている。 1～3年を通して、SDGsの17の目標に関連した題材が豊富に取り上げられており、他教科等との関連が図られるよう配慮されている。 			

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	開隆堂出版 株式会社	
英語702 SUNSHNE ENGLISH COURSE 1	英語802 SUNSHNE ENGLISH COURSE 2	英語902 SUNSHNE ENGLISH COURSE 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・PROGRAMは、「知識・技能」を習得するScenes、「思考力・判断力・表現力」をきたえるThink、Retell、Interactという流れで構成されており、それらの学習を通じて「学びに向かう力、人間性」が涵養できるように配慮されている。 ・課のはじめにあるScenesでは2コママンガを通して新出表現を学ぶことで、場面の把握にあまり日本語を必要としないメリットがある等、授業を英語で行えるように配慮されている箇所が多い。 ・複数の単元を学習した後に設定されている「Our Project」では、具体的な目的や場面、状況に応じて、既習事項を活用し、自分の考えを伝える力を育成することができるよう工夫されている。 ・各単元のゴールとして、「Interact」が設定され、生徒がコミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、学習した言語材料を活用し、主体的にやり取りを行うことができるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が確実に定着する流れ。「習得」→「思考」→「表現」（柔軟な授業展開可能） ・スモールステップを踏んだコミュニケーション活動になっている。（Try → Interact → Our projectなど）これは、3年間を通して徐々に内容も豊富、難易度も上がっている。 ・取り上げている英文は、単文から重文・複文へ。また、中学校で扱うべき1,600~1,800語が無理なく学べるように工夫されている。 			
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・各課のはじめにあるScenesでは、2コママンガという自然な場面設定の中で新出表現が導入されている。 ・Scenesの後にあるListenとSpeak & Writeという比較的易しい活動で知識・技能を養成し、本文であるThinkでその強化を図り、再話活動であるRetellを経て、Interactで目標事項の定着を図ることができる。 ・課末にある「英語の仕組み」では、図や色分けによって視覚的に課の新出文法を分かりやすく解説しており、基礎・基本事項の定着が確実に図れる構成となっている。 ・3年間を通して、4技能5領域の統合的な活動を行うOur Projectが8カ所設けられている。最終的にどんな力を身につけさせたいかというゴールから逆向きに考えていく指導計画を、Our Projectを軸に立てることができる。 ・全学年総授業時数の7割程度の配当時数となっており、無理なく学習できる分量である。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードによる動画の音声の視聴ができる。 ・特別支援教育にも配慮したカラーユニバーサルデザイン、つめこみ感のないゆとりあるAB版で見やすい。 ・巻末にある「アクションカード」は切り取り用のミシン目が施され、扱いやすいように配慮されている。 ・SDGsの17項目の目標のうち多くの項目に当てはまる題材が、3学年を通してバランスよく取り上げられている。 			

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	株式会社三省堂	
英語703 NEW CROWN English Series 1	英語803 NEW CROWN English Series 2	英語903 NEW CROWN English Series 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学び、ことば、伝統文化（日本文化）、異文化理解、社会理解、人間理解など多様な題材が取り上げられ、外国語を通して、その背景にある文化への理解を深めることができるように工夫されている。 ・ 5領域の言語活動を通して、「コミュニケーションを図る態度・資質・能力」を確実に身に付けられるように、内容が選択・配列されている。 ・ What can I do?では、1年間の学習を通して、何ができるようになるかが示され、見通しをもって主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・ Projectでは、スピーチやディスカッション等の言語活動の後に、内容についてお互いの意見を伝えあったり、新たな提案をしたりする活動が設定されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1～3年まで学年を追って難易度が徐々に上がっている。1年生では、小・中連携、3年生では中・高連携の観点から、語数や活動量を発達段階に応じて増加させるよう工夫している。 ・ 「文法のまとめ」で新出文法の事項が整理されている。 ・ 小学校と中学校、両方で学習する語彙のうち基礎的かつ重要な語彙を中心に扱っている。それらは、太字で脚注や側注に提示されている。音声に関しては、Soundsを中心に配置されている。 ・ 言語活動の分量も学年を踏まえて積み上げられるようになってきている。Take Actionでは、即興的なやり取り、Projectでは発表力を伸ばす内容となっている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元は、学びの見通しを立てる「とびら」、新出単語を理解するGET、英文の概要と要点を理解するUSE READ、振り返るWhat Can I Do?で、構成されている。 ・ Projectでは、3学年とも幅広いテーマで、言語活動が行えるように工夫されている。 ・ 「食文化」「スポーツ」「日本の古典芸能」など、他教科で学んだことを関連させて、広い視野で考えることができるように工夫されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学年で170箇所以上にQRコードが配置され、本文や語句の音声に加えて、聞くことや話すことのモデルとなる動画や、学びを深めるためのデジタルコンテンツが用意されており、5領域の力を総合的に伸ばすことができる。 ・ 巻末を中心に、本編と関連をもちながら、活用度、資料性の高いものが豊富に揃えられ、授業や自学自習の場面で多様な使い方ができるようになっている。 ・ 各学年の巻末にその学年までの学習を通して、できるようになってほしいこと（Can-Do リスト）があり、各学年の到達目標が明確に示されている。これを活用することで、生徒自身が自ら目標を設定したり、自身の英語力を確認したりしながら学習を進めることができる。 			

		種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称			発行者名
1 年	2 年	3 年	教育出版株式会社
英語704 ONE WORLD English course 1	英語804 ONE WORLD English course 2	英語904 ONE WORLD English course 3	
観 点			
調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・3学年を通して、聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、話すこと（発表）、書くことの5領域別に設定された目標を達成できるように、内容が選択、配列されている。 ・学習者が英語で自らの思考・判断を働かせて表現する活動が豊富に配置されており、外国語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育成することができる。 ・「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を一体に育むさまざまな活動が盛り込まれており、学習者の「主体的・対話的で深い学び」を実現して、一人一人の「生きる力」の育成に寄与できるよう工夫されている。 		
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・Useful Expressions、Projectでは、実践的なコミュニケーション活動を通して、英語で表現・発信する力を伸ばすことができる。 ・1年生でも対話文、長文が長め。 ・パートごとにGoalが示されている。また、見開き1ページで基礎・基本が身につくような構成になっている。 ・Review、Taskで思考力・判断力を高めることができる。 		
3 組織・配列等について	<ul style="list-style-type: none"> ・各Lessonは、原則として、特に重要な基本文の理解と定着を図るPart 1～2、より深い学習と発信力の伸長を図るPart 3、本文の内容理解確認の活動と技能統合の活動を行うLesson末のTaskで構成されている。 ・5領域にわたるTipsのコーナーでは、各領域のコミュニケーションを効果的に行うコツが練習場面とともに示されており、知識・技能の段階的な習得に資するよう配慮されている。 ・巻末のActivities Plusでは、既習の表現や文をさらに自由に使えるようにするための活動や表現例が扱われている。生徒の実態や学習段階に応じて言語材料を定着・活用させていくための材料が豊富に用意されている。 		
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に自己チェックできるCan-Doリストが掲載されている。 ・学年に応じた多彩なコンテンツ（自己紹介カード、説明ゲームカード、即興スピーチカード）がある。 ・QRコードで音声を視聴できる。マスキングシートが自主学習に活用できる。 ・Activities Plusを活用して即興で話す力を伸ばすことができる。帯活動に活用できる。 ・各学年の巻末には、ミシン加工が施された活動用カードTips for Speakingがついており、発話を引き出すスピーキング活動ができるようになっている。 ・付属の赤色マスキングシートを使って、重要語句やQ&A活動の自主学習をすることができる。 		

			種 目	英 語
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	光村図書出版 株式会社	
英語705 Here We Go! ENGLISH COURSE 1	英語805 Here We Go! ENGLISH COURSE 2	英語905 Here We Go! ENGLISH COURSE 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4人の中学生のストーリーを通じて、身の回りのことから社会や世界のことへと学習を進めることで幅広い知識と教養を身に付けるとともに、登場人物の互いを思いやる姿から豊かな情操と道徳心を培うように配慮されている。 ・ Unitの各パートの本文で学習すべき言語材料を提示して「聞く」「読む」「話す」「書く」それぞれの技能でそれを活用できるようにしており、5領域のバランスや活動の一貫性が考慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会話文から叙述文へ。毎時間5分程度の帯活動に活用できるページあり。 ・ 空港でのアナウンスを聞き取るなど、実生活に即したコミュニケーションの目的や場面・状況を設定した題材が豊富である。 ・ 受容語彙と発信語彙を区別（発信語彙には太字）している。 ・ Active Wordsには、自分自身のことを話したり、書いたりする活動に役立つ身近な語彙がカテゴリーごとに整理させている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年生の巻頭では、小学校で学んだ語彙と文法に印をつけ、既習事項が分かるように工夫してある。 ・ 各Unitは、扉、Part、Goalが基本構成であり、基礎的な知識・技能を習得・活用しながら、5領域の力をバランスよく伸ばすことができる。 ・ 各Unitの後には、Active Grammar のページが設けられている。文構造や文法の知識の復習に役立つだけでなく、言語の使用場面と意味、形とを結びつけながら整理することができる。 ・ SDGsや他教科につながる題材で、多様な見方・考え方を育てられるように工夫されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻末にCan-Doリストが掲載されており、自己チェックできるようになっている。 ・ 3年間、ひと続きのストーリーから成っている。「もっと読みたい」「自分だったら」という視点に生徒が立てるような構成になっている。（本文物語） ・ SDGsや他教科につながる題材で、多様な見方・考え方を育てられるように工夫されている。 ・ ユニバーサルデザインの書体の使用や文字の大きさなどに工夫がみられる。 			

			種 目	英 語
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1 年	2 年	3 年	株式会社振興出版社 啓林館	
英語706 BLUE SKY English course 1	英語806 BLUE SKY English course 2	英語906 BLUE SKY English course 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> 英語の基本を身につけ、それらを使って主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育む工夫がされている。 題材を通して、職業・伝統文化・自然・社会などへの見識を深め、豊かな人間性を育む工夫がされている。 随所にペアやグループでの活動を設け、意見や考えを伝え合い、理解しあうことで、より深い学習が行えるようになっている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> Wordsでは、中学校で定着させたい語を太字で示してある。 コミュニケーション活動に活用できるように、Tool BoxやWords Boxを充実させている。 Targetで基本となる文法事項を繰り返すことで、重要な文法が定着できるようになっている。 			
3 組織・配列等 について	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界で今起きていること、あるいは実在の人物や実際の出来事を題材として扱っている。また2, 3年生の各Unitの最後には、そのUnitで学んだ内容の補足資料としてMore Informationというページが配置されており、生徒の興味・関心を高めることができる。 いくつかのUnitで学んだことを生かしながら総合的な活動を行うProjectが、3年間を通じて8回設けられている。 2, 3年生では、Unitのテーマに沿ったミニスピーチの作成と発表ができるように、Express Yourself というページが配置されている。スモールステップを踏みながら、豊かな発信活動につなげる工夫がされている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> AB判を採用し、見やすい紙面構成にしてある。 「話す」「聞く」「読む」の各技能を集中して学習するページが充実している。 巻末の付録 Word Boxには、例文とともに発信活動に活用できる語句のリストが示されている。 QRコードを活用して音声を視聴することができる。 More Informationなどの日本語による情報コーナーを設け、題材への興味・関心を高めることができる。 Targetに日本語の詳しい説明をつけて、理解を促している。 			

令和3年度使用中学校用教科用図書
調査研究資料
(報 告 書)

道 徳

鹿沼市立小中学校教科用図書調査員会

			種 目	道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	東京書籍 株式会社	
道徳701 新訂 新しい道徳1	道徳801 新訂 新しい道徳2	道徳901 新訂 新しい道徳3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA21、B22、C43、D25の教材で構成されている。 ・全学年において、各視点の教材数が、A7、B7~8、C14~15、D8~9となっている。 ・4つの視点ともバランスよく取り上げられているが、[生命の尊さ]の教材が全学年とも4つずつ取り上げられており、特に重点化されている。 ・いじめの問題については、漫画や短い文章、絵などを用いた資料を用いたり、立場の異なる視点で考えさせたりする資料を掲載したりすることで、内容の理解を促すとともに、見方や考え方が深まるよう、工夫されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を通して、どのようなことを考えるのか(テーマ)を生徒に投げかける表現で示している。 ・教材の内容に関連するマンガの一部がテーマの下に掲載されている。また、テーマの脇に導入の際に生徒に問いかけるとよい言葉も掲載されており、生徒の興味・関心をひきやすい。 ・「つぶやき」欄に生徒が考えたこと・感じたことを簡単にメモできるようになっている。 ・「心情円」や「ホワイトボード用紙」を活用して、一人一人の意見を視覚的に共有しやすくなっている。 ・挿絵や写真がシンプル、仰々しくない。 ・教科書の大きさが横版。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の教科書が、オリエンテーション・本編・付録の3つで構成されている。オリエンテーションで道徳授業の基本的な流れや、話し合い活動のやり方について学習するため、本編にスムーズに入っていくことができる。 ・学習指導要領の内容を漏れなく扱い、現代的な課題への対応なども考慮して配列されている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒2人と先生、案内役のキャラクターを要所に配置し、学習の流れを案内するとともに、興味・関心を引き出している。 ・難しい表現はさげたり、マンガ教材を取り上げたりするなど、生徒にとって親しみやすい教材になるよう配慮されている。 ・挿絵やレイアウトが工夫され、生徒を引き込む工夫がされている。 ・各教材に「つぶやき」コーナーを設置し、生徒が考えたことや思ったことを自由に書き込んで、話し合いの際の材料として整理できるようになっている。 ・巻末に切り取り式の自己評価用紙を用意し、学期ごとに生徒が自己評価を行い、提出できるよう配慮してある。 			

			種 目	道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	教育出版 株式会社	
道徳702 中学道徳1 とびだそう未来へ	道徳802 中学道徳2 とびだそう未来へ	道徳902 中学道徳3 とびだそう未来へ		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。 ・ 4つの視点ともバランスよく取り上げられているが、視点Cに関しては、1年12に対し、2, 3年では「順法精神, 公德心」、[国際理解, 国際貢献]、[社会参画, 公共の精神]が複数回取り上げられ、発達の段階に応じて差がつけられている。 ・ 写真を多用した教材により、興味をもって学習できるよう配慮されている。また、問題解決的な学習、体験的な学習に適した教材が取り上げられている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「学びの道しるべ」では、多様な学びの展開が図られ、道徳的諸価値についての理解を深められる。 ・ 4つの大きな内容項目が色と絵柄で区別されている。 ・ 学年ごとに、オリエンテーションのページがあり、学習に入るまでの学び方、心の持ち方が分かりやすく紹介されている。 ・ 補充教材が入っていて、入れ替え可能になっている。 ・ 資料名下の <input checked="" type="checkbox"/> の一言コメント→この授業で何を考えていくのか意識作りができる。 ・ やってみよう 体験的な活動教材、授業の中で無理なく取り入れられる。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他教科や特別活動などの実施学年や学習時期を考慮した教材配列となっている。 ・ 1教材1時間での扱いができるように、35教材が掲載されている。 ・ いじめについてスパイラルに学習できる。 ・ 学年の発達段階に即して、1年では「A：自分自身に関すること」の教材を手厚く扱い、学年が上がるにつれて「B：人との関わり」や「C：集団や社会との関わり」の教材を増やしていく構成になっている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・ カラーユニバーサルデザインにより、全ての生徒が判別しやすい配色や表現方法となるよう配慮されている。 ・ 1学年前半部の教材本文は大きい文字を、また、全学年の本文には、文字の形が分かりやすく読み間違えにくいユニバーサルデザインに対応したフォントを使用しており、読むことへの抵抗を少なくする配慮がされている。 ・ 学習上支援が必要な生徒にとっても紙面全体が読みやすくわかりやすい。 ・ 1時間ごとの学習の記録や学期末・学年末に自己の振り返りができるページがある。 			

			種 目	道 徳
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年	光村図書出版 株式会社	
道徳703 中学校道徳1 きみがいちばんひかるとき	道徳803 中学校道徳2 きみがいちばんひかるとき	道徳903 中学校道徳3 きみがいちばんひかるとき		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA27、B22、C41、D21の教材で構成されている。 ・4つの視点ともバランスよく取り上げられているが、内容項目「生命の尊さ」に関しては、全学年とも3つの教材が用意されており、特に重点化が図られている。 ・全学年で、「いじめ問題」、「情報モラル」、「共生」、「社会参画」、「環境」、「国際理解」といった、現代的な課題が幅広く取り上げられている。また、それぞれに、「コラム」として補助資料が添えられ、理解が深まるよう配慮されている。 			
2 程度・選択・ 取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた挿絵で見やすい。 ・主題名が資料に明確に明記されている。 ・目次に「シーズン1～3」として何について学ぶのか、分かりやすく記されている。 ・「考えよう」という内容項目に沿った発問だけでなく、「見方を変えて」や「つなげよう」という発問があり、多面的に考えたり、これからの自分について考えさせたりする活動ができるようになっている。 			
3 組織・配列・ 分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の実態と、生徒の1年間の成長を考慮して、年間を3つのシーズン（まとめ）に分けて構成している。 ・「授業開き」と「振り返り」の教材が導入されていて、見通しをもたせたり、学びを振り返り、これからの生き方を見つめたりすることができるようになっている。 ・全ての学年に「深めたいむ」を設け、「いじめ問題」や「情報モラル」について深く考えられるようになっている。 			
4 本書の特徴点 について	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間を3つの学習のまとめりに分けることにより、時期にあった内容項目を重点的に配置するよう工夫されている。 ・「生命の尊さ」については特に力点が置かれている。 ・「現代的な課題」の中でも、「環境」「国際理解」「共生」について重視し、教材の後にコラムを取り入れている。 ・巻末にはシーズンごとの記録を残す「学びの記録」が設けられていて、長期的に生徒の成長を評価するために有効に活用できる。 			

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	道 徳
1年	2年	3年		
道徳704 中学道徳あすを生きる1 道徳705 中学道徳あすを生きる1 道徳ノート	道徳804 中学道徳あすを生きる2 道徳805 中学道徳あすを生きる2 道徳ノート	道徳904 中学道徳あすを生きる3 道徳905 中学道徳あすを生きる3 道徳ノート		発行者名 日本文教出版 株式会社
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA18、B20、C46、D21の教材で構成されている。 ・全学年において、各視点の教材数が、A6、B6~7、C15~16、D7となっている。 ・4つの視点ともバランスよく取り上げられているが、内容項目「生命の尊さ」に関しては、全学年とも3つの教材が用意されており、特に重点化が図られている。 ・いじめの問題について、A、B、Cそれぞれの視点において、様々な内容の教材が取り上げられ、多面的、多角的に考えられるよう工夫されている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・主題名が明確に記されている。 ・リアルな挿絵や写真が多く、場面を捉えやすい。また、生徒の興味・関心をひきやすい。 ・「プラットフォーム」は、その資料（学習）に関連づけるページになっている。 ・道徳ノート「考えてみよう」では、中心発問に対する自分の考え、また友人の意見を記入する欄があり、話し合い活動がしやすい。何について考えればよいか分かりやすい。多面的・多角的に考える状況に自然となる。 ・ノート「自分に+1」では、実生活と結びつけて自分のこれからについて考え記入させる欄があり発展的になっている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容項目が過不足なくおさえられた教材となっており、重点項目には複数の教材が掲載されている。 ・生徒の発達の段階に即して道徳性を育成するために、各学年にテーマを設定している。 1学年・・・新しい自分と「であう」 2学年・・・人との関係を「みつめる」 3学年・・・よりよい人生を「ひらく」 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・無理なく活用できそうな道徳ノートがあり、進め方がわかりやすい。生徒の変化・成長を見とる手がかりとなり、評価に活用できる。 ・「問題解決的な学習」や「体験的な学習」に適した教材には、参考例として「学習の進め方」を設け、授業の展開をイメージしやすい。 ・道徳ノートの「考えてみよう」や「自分にプラスワン」という欄を活用して、発問を自由に設定することができる。 ・「いじめと向き合う」という項目がどの学年にも設けてあり、「自分たちの問題として捉え、いじめを許さない心を育てる」教材が充実している。 			

			種 目	道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株式会社 学研教育みらい	
道徳706 新・中学生の道徳 明日への扉 1	道徳806 新・中学生の道徳 明日への扉 2	道徳906 新・中学生の道徳 明日への扉 3		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて、内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。 ・「命の教育」を重点テーマとしている。「命の尊さ」に関して、全学年とも3つの教材が用意されているとともに、他の内容項目とともに生命について多面的・多角的に考えられる教材が複数取り上げられている。 ・SDGs（持続可能な開発目標）とキャリア教育について、全学年でユニット教材として取り上げられている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料名のところに主題名が表記されていないため、生徒に特定の価値を押しつけることなく、自ら問題意識をもつようになっている。 ・3種類の特設ページ（深めよう、クローズアップ、クローズアッププラス）を設け、多様な学びの展開が図れる。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容項目がバランスよく配置されている。 ・情報社会における生き方を考える、情報モラルに関する資料が全ての学年に2教材ずつ取り入れられている。 ・巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページがあり、1年間での自分の成長を感じることができる。 ・読み物だけでなく、絵や写真、図やグラフ等のバラエティに富んだ素材で構成されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインにより、すべての生徒が見分けやすい配色や目に優しい色合いとの調和を図るよう配慮されている。 ・A B判のワイドな教科書で、活字は大きく見やすい書体を使用している。 ・主題が本文中に記載されていないため、特定の価値観にとらわれることのない展開になるように工夫されている。 ・いのちの教育を全学年の重点テーマにしている。 			

			種 目	道 徳
教科用図書の記号・番号・名称				発行者名
1年	2年	3年		
道徳707 中学生の道徳 自分を見つける1 道徳708 中学生の道徳ノート 自分を見つける1	道徳807 中学生の道徳 自分を考える2 道徳808 中学生の道徳ノート 自分を考える2	道徳907 中学生の道徳 自分をのばす3 道徳908 中学生の道徳ノート 自分をのばす3	廣済堂 あかつき 株式会社	
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の四つの視点が適切に取り扱われている。全学年を通してA24、B21、C36、D24の教材で構成されている。 ・全学年において、各視点の教材数がA8、B7、C12、D8で統一されている。 ・四つの視点ともバランスよく取り上げられているが、[自主、自立、自由と責任]、[思いやり、感謝]、[生命の尊さ]、[よりよく生きる喜び]の四つの項目においては全学年3つの教材が取り上げられ、特に重点化されている。 ・多様な考えに触れられるよう、また、主体的・対話的な学習が活発に展開されるよう「考える・話し合う」における問いに工夫がある。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味・関心を高められるような有名人の逸話が多く掲載されている。 ・「学習の手がかり」から授業者にも何をねらいとした授業を行えばよいのか分かりやすい。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の発達段階に配慮しながら、各教科の学習内容や他の教育活動などとの時期的・内容的関連を考慮した配列となっている。 ・35の教材に加え、現代社会の課題でもある「情報モラル」と「持続可能な社会」に関する2つの付録が3学年ともある。 ・授業の展開に応じて活用できるよう、本冊の「thinking」や別冊の資料などの補助資料が掲載されている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・本冊と「道徳ノート」の2冊を併用することで、道徳科の目標の達成に資するような構成になっている。 ・すべての教材の最後に、先人や現在活躍している著名人の言葉が掲載されており、生徒の見方や考えが広がるための工夫がある。 ・道徳ノートには、授業を通して考えたことを記述する「学習の記録」や、一定期間のまとめりで授業を振り返りながら書き込める「心に残っている授業の記録」、教材ごとに学びを振り返ることができる「心のしおり」などがある。 ・AB判のワイドな教科書で、誰もが見やすいような文字や行間の統一、未習の漢字全てへの振り仮名表記などにより、内容が理解しやすいように配慮されている。 			

			種 目	道 徳
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称				発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	日本教科書株式会社	
道徳709 道徳 中学1 生き方から学ぶ	道徳809 道徳 中学2 生き方を見つめる	道徳909 道徳 中学3 生き方を創造する		
観 点	調 査 の 結 果			
1 内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて、内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。 ・4つの視点ともバランスよく取り上げられている。特に「C集団や社会との関わりに関すること」に関する教材が多く取り上げられ、重点化が図られている。 ・身近な生活体験や事象だけではなく、先人・著名人の生き方から学ぶ人物教材、地域教材など、多彩な教材が取り上げられている。 			
2 程度・選択・取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・資料名のところに主題名が表記されていないため、生徒に特定の価値を押しつけることなく、自ら問題意識をもつようになっている。 ・学年間で繋がる生徒の日常を描く教材「リョウとマキ」が取り上げられている。発達段階に応じて、自分の気持ちと重ねて考えることができるよう配慮されている。 			
3 組織・配列・分量について	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の内容項目順に教材が配置されている。 ・年間指導計画を検討する際、教科書に掲載されている順番にしばられることなく、各地域や学校の特色等に応じて自由に教材を生かすことができる。 ・学校行事や他教科の学習、キャリア教育等と関連のある教材が取り上げられている。 			
4 本書の特徴点について	<ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重への学びをより深める教材が多く、いじめを許さない心の育成を目指している。 ・写真や挿絵がシンプルである。 ・3年間を通して掲載するストーリーがあり、発達段階に沿って展開できる。 ・生徒が自分自身の問題として捉え、考え、議論することができるよう、教材やワークシート、問いが工夫されている。 			